

I 日本赤十字社徳島県支部事務局

I 日本赤十字社徳島県支部

I 支部事務局の概要

1 沿革

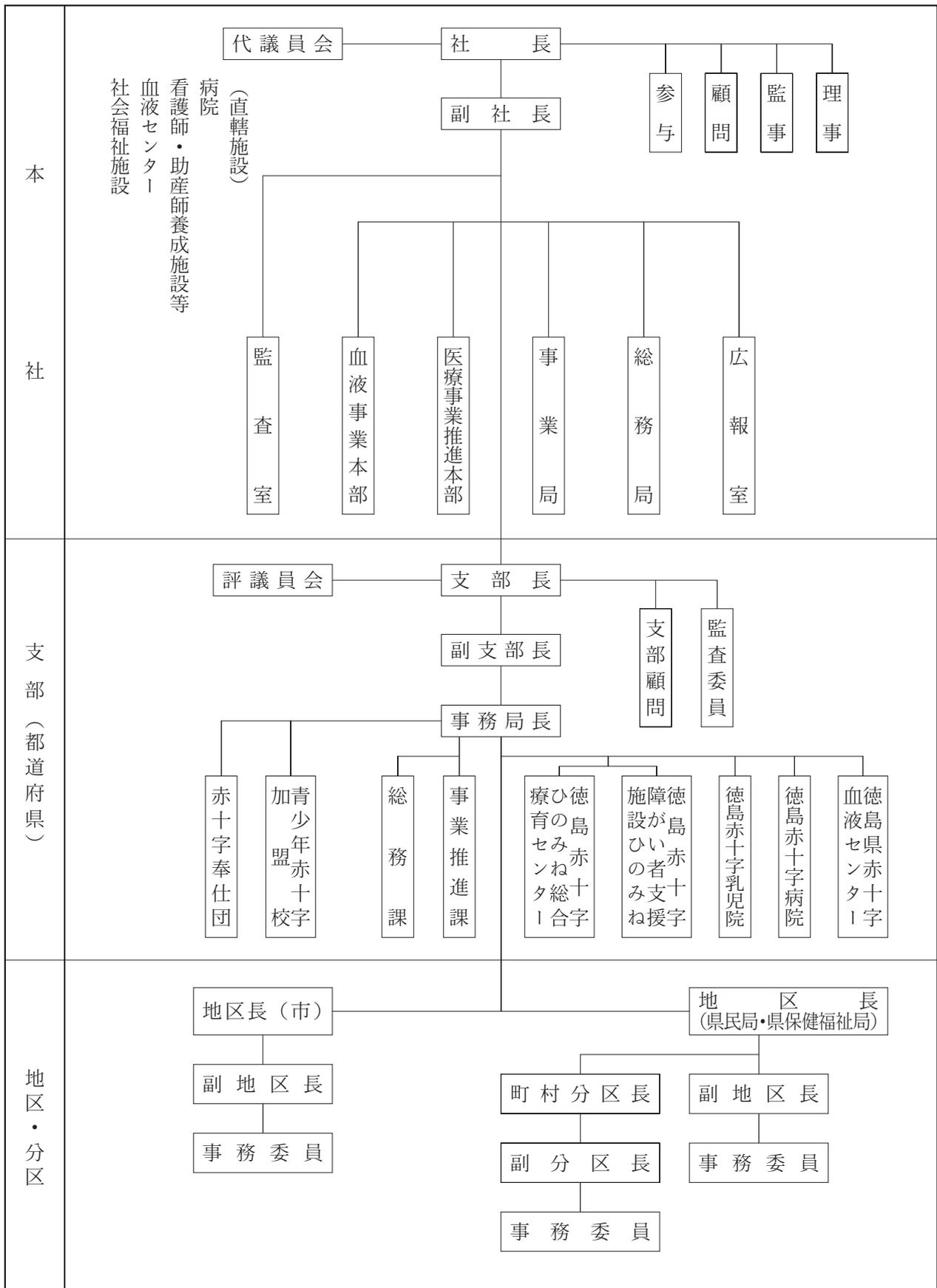
| 年 月 日 | 事 項 |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 明治20. 10. 28 | 四国の他の3県にさきがけ日本赤十字社徳島県委員部として創立、初代委員長に酒井明氏が就任 |
| 27. 11. 27 | 日本赤十字社徳島県委員部は各県に支部制がしかれ、日本赤十字社徳島支部と改称 初代支部長に村上義雄氏が就任 |
| 昭和20. 7. 4 | 徳島本町にあった支部社屋が戦災により焼失し、翌5日に北常三島町2丁目の民家を借り業務を開始 |
| 22. 9. 27 | 初の民間人支部長に奥村嘉蔵氏が就任 |
| 23. 9. 1 | 徳島本町の旧敷地内に木造平屋の支部社屋を再建 |
| 27. 10. 31 | 新定款の制定により日本赤十字社徳島県支部と改称 |
| 35. 3. 13 | 徳島市新蔵町1丁目の県有地 647.20 m ² を借受け、鉄筋コンクリート3階建（一部4階）延面積 953.35 m ² の支部社屋を建設 |
| 42. 1. 6 | 奥村嘉蔵氏死去により支部長辞任 |
| 6. 3 | 第38代支部長に武市恭信氏が就任 |
| 56. 10. 12 | 武市恭信氏、支部長辞任 |
| 13 | 第39代支部長に三木申三氏が就任 |
| 58. 11. 26 | 徳島市庄町3丁目12-1の県有地 3,378.81 m ² を借受け、鉄筋コンクリート3階建の本館延面積 861.84 m ² 及び鉄筋平屋建の倉庫及び車庫延面積 280.58 m ² 、合計延面積 1,142.42 m ² の新社屋建設 ※同県有地内に血液センター社屋及び車庫総延面積 2,559.96 m ² も同時建設 |
| 59. 3. 10 | 徳島市新蔵町1丁目の旧社屋を解体 |
| 62. 11. 25 | 名誉副総裁三笠宮妃殿下をお迎えして支部創立百周年記念赤十字大会を開催 |
| 平成5. 10. 4 | 三木申三氏、支部長辞任 |
| 5 | 第40代支部長に圓藤寿穂氏が就任 |
| 9. 7. 23 | 皇太子殿下・同妃殿下をお迎えして第33回献血運動推進全国大会を開催 |
| 14. 3. 17 | 圓藤寿穂氏、支部長辞任 |
| 18 | 第40代支部長職務代理に副支部長藤野井親仁氏が就任 |
| 5. 22 | 第41代支部長に大田正氏が就任 |
| 15. 5. 29 | 大田正氏、支部長辞任 |
| 6. 4 | 第42代支部長に飯泉嘉門氏が就任 |
| 16. 9. 9 | 吉野川市鴨島町に赤十字防災センターを設置 |
| 19. 12. 6 | 名誉副総裁高円宮妃殿下をお迎えして支部創立百二十周年記念赤十字大会を開催 |

| 年 月 日 | 事 項 |
|---------------------|----------------------------------------------------------|
| 平成23. 9. 8 | 板東俘虜収容所跡地（鳴門市ドイツ村公園）に「赤十字ゆかりの地モニュメント」を設置 |
| 27. 5. 1 | 支部事務局1階玄関ホールに「赤十字展示コーナー」を設置 |
| 29. 4. 22 ～6. 11 | 支部創立130周年記念展「今に生きる『人道博愛の心』—美術に見る日本赤十字社の歩み—」を徳島県立近代美術館で開催 |
| 9. 7 | 海部郡牟岐町に赤十字南部救護倉庫を設置 |
| 12. 6 | 名誉副総裁寛仁親王妃信子殿下をお迎えして支部創立百三十周年記念赤十字大会を開催 |
| 30. 3. 31 | 吉野川市鴨島町の赤十字防災センターを廃止 |
| 4. 24 | 「とくしま赤十字災害救護サポートセンター」を開所 |

2 組 織

日本赤十字社の組織

(令和3年4月1日現在)



3 役員・評議員

(1) 役員名簿

(令和3年4月1日現在)

| 役職名 | 氏名 | 住所 | 備考 |
|------------------|------|-------|-----------------------|
| 支 部 役 員 | 支部長 | 飯泉嘉門 | 徳島県知事 |
| | 副支部長 | 内藤佐和子 | 徳島市長 |
| | | 坂口博文 | 徳島県町村会長・那賀町長 |
| | | 西宮映二 | 徳島県赤十字有功会長 阿波銀行相談役 |
| | 監査委員 | 原孝仁 | 公認会計士 |
| | | 川長光男 | 元徳島県町村会常務理事 |
| | 顧問 | 小森将晴 | 元日本赤十字社徳島県支部事務局長 |

| | | | | |
|------------------|-----------------------|------|---------|-------------------------------|
| 本 社 役 員 | 理 事 代 議 員 | 西宮映二 | 徳島市西船場2 | 日本赤十字社徳島県支部副支部長 阿波銀行相談役 |
| | | 川島周 | 徳島市北佐古1 | 川島ホスピタルグループ会長 徳島県赤十字有功会副会長 |

(2) 評議員名簿

(任期 平成31年2月14日～令和4年2月13日)

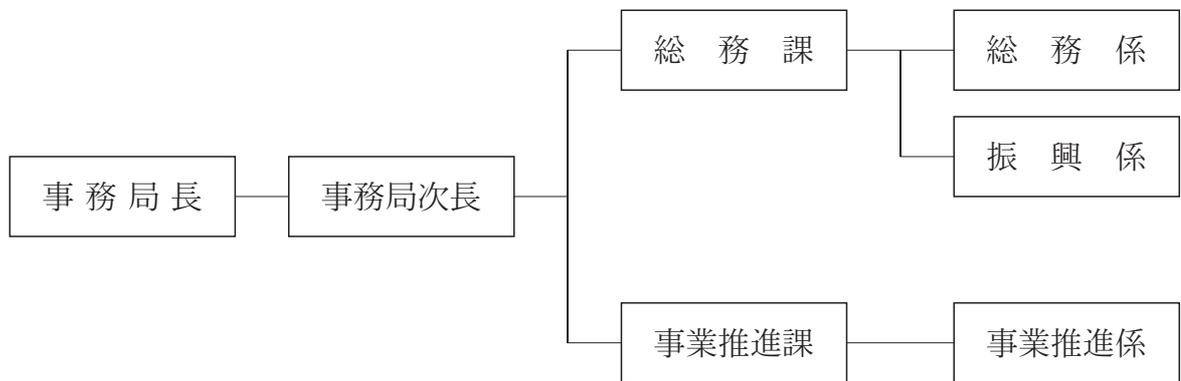
(令和3年4月1日現在)

| 選出地区名 | 氏名 | 住所 | 備考 |
|-------|---------|----------|---------------------|
| 徳島市 | 寺内 カッコ | 徳島市南末広町 | 徳島商工会議所会頭 |
| | 宇都宮 正 登 | 徳島市幸町3 | 徳島市医師会長 |
| | 米田 豊彦 | 徳島市中徳島町2 | 徳島新聞社長 理事社長 |
| | 森 秀 司 | 徳島市北田宮1 | 徳島県歯科医師会長 |
| | 板東 恵子 | 徳島市南沖洲 | 徳島市地区赤十字 奉仕団委員長 |
| 鳴門市 | 泉 理彦 | 鳴門市撫養町 | 鳴門市長 |
| | 矢野 壽美子 | 鳴門市撫養町 | 鳴門市地区赤十字 奉仕団委員長 |
| 小松島市 | 中山 俊雄 | 小松島市横須町 | 小松島市長 |
| | 畠山 ツミ子 | 小松島市和田島町 | 小松島市地区赤十字 奉仕団委員長 |
| 阿南市 | 表原 立磨 | 阿南市富岡町 | 阿南市長 |
| | 紅露 清恵 | 阿南市桑野町 | 阿南市地区赤十字 奉仕団委員長 |
| 吉野川市 | 原井 敬 | 吉野川市鴨島町 | 吉野川市長 |
| | 喜島 寧子 | 吉野川市鴨島町 | 吉野川市地区赤十字 奉仕団委員長 |
| 阿波市 | 藤井 正助 | 阿波市市場町 | 阿波市長 |
| 美馬市 | 藤田 元治 | 美馬市穴吹町 | 美馬市長 |
| 三好市 | 黒川 征一 | 三好市池田町 | 三好市長 |

| 選出地区名 | 氏 名 | 住 所 | 備 考 |
|-------|---------|----------|----------------------------|
| 東 部 | 野 上 武 典 | 勝浦郡勝浦町 | 勝 浦 町 長 |
| | 小 林 智 仁 | 名西郡石井町 | 石 井 町 長 |
| | 古 川 保 博 | 板野郡北島町 | 北 島 町 長 |
| | 高 橋 英 夫 | 板野郡藍住町 | 藍 住 町 長 |
| | 玉 井 孝 治 | 板野郡板野町 | 板 野 町 長 |
| 南 部 | 坂 口 博 文 | 那賀郡那賀町 | 那 賀 町 長 |
| | 影 治 信 良 | 海部郡美波町 | 美 波 町 長 |
| 西 部 | 兼 西 茂 | 美馬郡つるぎ町 | つ る ぎ 町 長 |
| | 松 浦 敬 治 | 三好郡東みよし町 | 東 み よ し 町 長 |
| 支部長選出 | 西 宮 映 二 | 徳島市西船場 2 | 徳島県赤十字有功会長 (株)阿波銀行 相談役 |
| | 中 西 庄次郎 | 徳島市北佐古 1 | JA 徳 島 中 央 会 長 |
| | 伊 藤 大 輔 | 徳島市万代町 1 | 徳島県保健福祉部長 |
| | 藤 田 育 美 | 美馬市脇町 | 赤十字奉仕団徳島県 支 部 委 員 長 |
| | 上 田 託 也 | 板野郡板野町 | 青少年赤十字徳島県 指 導 者 協 議 会 長 |

4 支部事務局

(1) 組織



(2) 職員の現員 (令和3年4月1日現在) 8名

II 重点事項

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命に基づき、各種人道活動を展開した。

1 赤十字思想の普及、赤十字会員等・社資（赤十字活動支援費）の増強

(1) 年間を通じた広報活動の推進

県内各地の幹線道路沿いに設置している赤十字看板や、のぼり、ケーブルテレビ等を活用して地域に根ざした広報活動を展開するとともに、新聞やホームページ等様々な媒体による情報発信を行い、「赤十字活動の見える化」を推進した。

(2) 「赤十字フラッグキャンペーン」の実施

5月の赤十字運動月間に、県庁前ヨットハーバー「ケンチョピア」の沿道沿いに幟を掲げるとともに、徳島の玄関口である「徳島駅前一番町商店街」の沿道ポールにバナーフラッグを掲揚し、赤十字思想の普及に努めた。

(3) 「赤十字レッドライトアッププロジェクト」の実施

世界赤十字デーの5月8日から14日までの7日間にわたり、徳島県の象徴的な建造物である「鷲の門」を赤十字カラーである赤色のライトで照らし、赤十字運動月間の啓発に努めた。

(4) 赤十字人道紙芝居を活用した人道精神の普及・啓発

赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスモス」を活用した人道学習等を通して、赤十字思想の普及・啓発を図った。

(5) 時代に応じた寄付制度の普及・啓発

超高齢社会におけるライフプランに応じた赤十字支援の方法（遺産や相続財産の寄付、御香典からの寄付等）について、関係機関の協力を得ながら積極的な情報発信に努めた。

(6) 日本赤十字社功労表彰の実施

赤十字奉仕団員や地区・分区役員等、赤十字活動に功労のあった方々への顕彰を行い、感謝の意を表すとともに、赤十字活動への更なる理解と協力を呼びかけた。

(7) 「赤十字活動支援自動販売機」の設置推進

有功会や地区・分区、管内赤十字施設の協力を得て、赤十字活動支援自動販売機を新たに10台設置し、身近で手軽に赤十字支援ができる環境整備を図った。

2 災害救護

(1) 「令和2年7月豪雨災害」における救護活動

記録的な集中豪雨により甚大な被害を受けた熊本県南部に、日赤徳島DMAT（災害派遣医療チーム）及び医療救護班を派遣し、病院支援や救護所等での医療救護活動を実施した。

(2) 救護班要員研修等の実施

災害救護活動において業務調整の役割を担う救護班主事を対象とした救護所設営訓練や各種資器材習熟訓練等を実施した。

(3) 災害時活動用テントの配備

地域における災害時の支援活動や平時の防災訓練等に活用できる折りたたみ式テント25張を追加配備し、地域の防災力・災害対応力の向上を図った。

(4) 大規模災害時における避難者支援体制の強化

大規模災害時の長期避難生活において、特に支援が必要な乳児及び要配慮者に特化した当支部オリジナル「段ボールベッド」を整備した。

(5) 地域における防災・減災事業の推進

地域における「自助」「共助」の力を高めるために、赤十字防災セミナーを実施し、災害の基礎知識や災害への備えについての講話をはじめ、災害時高齢者生活支援講習等を通して、防災・減災力の向上に努めた。

(6) 「東日本大震災から10年 赤十字『思い』をつなぐ展」の開催

震災から10年を迎え、当時の赤十字の救護活動を紹介するとともに、これまでの災害救護の経験と教訓から整備した救護資材等の展示を通して、震災の風化防止と未来に目を向けた「防災・減災への備え」についての普及・啓発を図った。

3 赤十字救急法等の普及活動

(1) 新型コロナウイルス蔓延下における新たな赤十字講習の普及

新たな生活様式に基づき、受講者の健康チェックや3密回避が可能な会場選定、受講者の人数制限等の感染防止対策を徹底したうえで、主催者の協力の下、各種赤十字講習の普及に努めた。

(2) 対象のニーズに合わせた各種講習会の開催

救急法や幼児安全法講習においては、感染防止対策として蘇生人形の代わりにペットボトルを活用した講習を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症に関する知識や正しい手洗い習慣の啓発等、県民のニーズに合わせた講習を実施し、いのちと健康を守る取り組みを推進した。

(3) 新型コロナウイルス感染症への差別・偏見解消に向けた啓発活動の実施

赤十字の人権啓発教材「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を活用して、「病気」「不安」「差別」の3つの顔を知り、感染症の負の連鎖を断ち切るための対処法の普及を図ることで、差別や偏見を防ぐ啓発活動を推進した。

4 赤十字奉仕団活動

(1) 赤十字奉仕団の活性化

地域のニーズに応じた赤十字のボランティア活動を広く周知するとともに、新たな奉仕団員を募集するためのリーフレットを作成し、市町村の広報誌に掲載するなど、奉仕団活動の活性化に努めた。

(2) 災害に強い地域づくりへの貢献

赤十字が県内各地域に配備している「災害用移動炊飯器」や「災害時活動用テント」を活用した炊き出し訓練等を実施し、地域の防災力向上に努めた。

(3) 「東日本大震災10年プロジェクト」への参加

日本赤十字社宮城県支部が主催した「東日本大震災10年プロジェクト」に参加し、被災地で炊き出し支援を行った地域赤十字奉仕団員が宮城県の河北新報社による取材を通して、被災者への心温まるメッセージや動画、寄せ書きフラッグを送り、被災者との心の交流を図った。

5 青少年赤十字

(1) 青少年赤十字の加盟促進等

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げる青少年赤十字を普及するため、県下の幼稚園を対象に加盟促進を図った。

また、小・中・高の加盟校では、防災教育やリサイクル活動等を通して、「気づき・考え・実行する」青少年赤十字活動を実施した。

(2) 青少年赤十字国際支援学習の実施

赤十字国際救護員を青少年赤十字加盟校に派遣し、紛争や貧困に苦しむ世界の子供たちの現状を救護活動の実体験を交えて伝えることにより、生徒の国際社会への関心と理解促進に努めた。

(3) 「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を活用した人権啓発活動

新型コロナウイルスの人権啓発教材「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を青少年赤十字加盟校に提供し、各学校での人権学習等を通して、新型コロナウイルスによる差別・偏見を防ぐための啓発活動を行った。

6 国際活動

(1) アジア・大洋州地域に対する給水・衛生活動の支援

日本赤十字社中国・四国各県支部と連携し、アジア・大洋州地域における「給水・衛生キット」の配備をはじめとした給水・衛生活動の支援を行った。

Ⅲ 事業の実施状況

1 赤十字思想の普及、赤十字会員等・社資（赤十字活動支援費）の増強

新型コロナウイルス感染症の流行により、社資募集をとりまく環境は非常に厳しい状況となったが、地区・分区や赤十字奉仕団、赤十字協賛委員、赤十字有功会、各種ボランティア等の協力と会員の支援を得て、次のとおり実績をあげることができた。

(1) 社資募集実績表

| 項 目 | 目 標 額 (円) | 実 績 額 (円) | 達 成 率 (%) |
|---------|-------------|-------------|-----------|
| 一 般 社 資 | 139,000,000 | 138,379,086 | 99.6 |
| 内 訳 | 社 費 | 111,769,262 | 86.6 |
| | 寄 付 金 | 26,609,824 | 266.1 |
| | 指定寄付金 | 0 | — |
| 法 人 社 資 | 18,000,000 | 49,522,081 | 275.1 |
| 内 訳 | 指定寄付金 | 2,000,000 | 100.0 |
| | その他社資 | 47,522,081 | 297.0 |
| 合 計 | 157,000,000 | 187,901,167 | 119.7 |

※ 達成率は小数第2位を四捨五入

(2) 地区別社費実績表

| 年度別 地区名 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|------------|-----------------|-----------------|-----------|-----------------|-----------------|-----------|
| | 目標額 | 実績額 | 達成率 | 目標額 | 実績額 | 達成率 |
| 徳島市区 | 円 44,666,000 | 円 26,303,928 | % 58.9 | 円 44,493,000 | 円 26,932,896 | % 60.5 |
| 鳴門市区 | 9,558,000 | 9,191,261 | 96.2 | 9,614,000 | 8,899,925 | 92.6 |
| 小松島市区 | 6,250,000 | 2,392,500 | 38.3 | 6,258,000 | 2,262,050 | 36.1 |
| 阿南市区 | 11,790,000 | 11,276,800 | 95.6 | 11,798,000 | 11,364,866 | 96.3 |
| 吉野川市区 | 6,604,000 | 6,284,800 | 95.2 | 6,633,000 | 6,270,300 | 94.5 |
| 阿波市区 | 5,860,000 | 5,225,800 | 89.2 | 5,878,000 | 5,022,800 | 85.5 |
| 美馬市区 | 4,791,000 | 4,510,500 | 94.1 | 4,817,000 | 4,204,100 | 87.3 |
| 三好市区 | 4,209,000 | 4,915,482 | 116.8 | 4,274,000 | 5,312,500 | 124.3 |
| 東部地区 | 22,956,000 | 12,507,169 | 54.5 | 22,825,000 | 13,154,112 | 57.6 |
| 南部地区 | 4,617,000 | 4,458,111 | 96.6 | 4,678,000 | 4,563,521 | 97.6 |
| 西部地区 | 3,699,000 | 4,268,200 | 115.4 | 3,732,000 | 3,944,320 | 105.7 |
| その他 | 4,000,000 | 20,434,711 | 510.9 | 4,000,000 | 13,197,264 | 329.9 |
| 計 | 129,000,000 | 111,769,262 | 86.6 | 129,000,000 | 105,128,654 | 81.5 |

※1 達成率は小数第2位を四捨五入

※2 「その他」については、日本赤十字社徳島県支部扱いの社費協力

(3) 分區別社費実績表

| 年度別 地区・分区名 | | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|------------------|---------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|------------|
| | | 目標額 (円) | 実績額 (円) | 達成率 (%) | 目標額 (円) | 実績額 (円) | 達成率 (%) |
| 徳島市地区 | | 44,666,000 | 26,303,928 | 58.9 | 44,493,000 | 26,932,896 | 60.5 |
| 鳴門市地区 | | 9,558,000 | 9,191,261 | 96.2 | 9,614,000 | 8,899,925 | 92.6 |
| 小松島市地区 | | 6,250,000 | 2,392,500 | 38.3 | 6,258,000 | 2,262,050 | 36.1 |
| 阿南市地区 | | 11,790,000 | 11,276,800 | 95.6 | 11,798,000 | 11,364,866 | 96.3 |
| 吉野川市地区 | | 6,604,000 | 6,284,800 | 95.2 | 6,633,000 | 6,270,300 | 94.5 |
| 阿波市地区 | | 5,860,000 | 5,225,800 | 89.2 | 5,878,000 | 5,022,800 | 85.5 |
| 美馬市地区 | | 4,791,000 | 4,510,500 | 94.1 | 4,817,000 | 4,204,100 | 87.3 |
| 三好市地区 | | 4,209,000 | 4,915,482 | 116.8 | 4,274,000 | 5,312,500 | 124.3 |
| 東 部 地 区 | 勝浦町分区 | 824,000 | 1,092,600 | 132.6 | 834,000 | 961,600 | 115.3 |
| | 上勝町分区 | 249,000 | 267,100 | 107.3 | 255,000 | 287,000 | 112.5 |
| | 佐那河内村分区 | 353,000 | 477,000 | 135.1 | 359,000 | 486,100 | 135.4 |
| | 石井町分区 | 4,213,000 | 2,294,950 | 54.5 | 4,178,000 | 2,736,700 | 65.5 |
| | 神山町分区 | 829,000 | 922,102 | 111.2 | 838,000 | 915,250 | 109.2 |
| | 松茂町分区 | 2,527,000 | 1,635,602 | 64.7 | 2,524,000 | 1,605,604 | 63.6 |
| | 北島町分区 | 3,889,000 | 1,434,115 | 36.9 | 3,858,000 | 1,515,698 | 39.3 |
| | 藍住町分区 | 5,982,000 | 1,693,500 | 28.3 | 5,897,000 | 2,026,160 | 34.4 |
| | 板野町分区 | 2,173,000 | 1,079,400 | 49.7 | 2,162,000 | 1,094,400 | 50.6 |
| | 上板町分区 | 1,917,000 | 1,610,800 | 84.0 | 1,920,000 | 1,525,600 | 79.5 |
| | 計 | 22,956,000 | 12,507,169 | 54.5 | 22,825,000 | 13,154,112 | 57.6 |
| 南 部 地 区 | 那賀町分区 | 1,322,000 | 1,330,400 | 100.6 | 1,342,000 | 1,370,900 | 102.2 |
| | 美波町分区 | 1,108,000 | 1,072,710 | 96.8 | 1,125,000 | 1,079,120 | 95.9 |
| | 牟岐町分区 | 674,000 | 712,001 | 105.6 | 685,000 | 732,101 | 106.9 |
| | 海陽町分区 | 1,513,000 | 1,343,000 | 88.8 | 1,526,000 | 1,381,400 | 90.5 |
| | 計 | 4,617,000 | 4,458,111 | 96.6 | 4,678,000 | 4,563,521 | 97.6 |
| 西 部 地 区 | つるぎ町分区 | 1,422,000 | 1,608,000 | 113.1 | 1,452,000 | 1,593,500 | 109.7 |
| | 東みよし町分区 | 2,277,000 | 2,660,200 | 116.8 | 2,280,000 | 2,350,820 | 103.1 |
| | 計 | 3,699,000 | 4,268,200 | 115.4 | 3,732,000 | 3,944,320 | 105.7 |
| そ の 他 | | 4,000,000 | 20,434,711 | 510.9 | 4,000,000 | 13,197,264 | 329.9 |
| 計 | | 129,000,000 | 111,769,262 | 86.6 | 129,000,000 | 105,128,654 | 81.5 |

※1 達成率は小数第2位を四捨五入

※2 「その他」については、日本赤十字社徳島県支部扱いの社費協力

(4) 年度別社資実績状況

| 年度 | 項目 | 目標額(円) | 実績額(円) | 達成率(%) |
|--------|-------|-------------|-------------|---------|
| 平成28年度 | 一般社資 | 140,000,000 | 169,259,840 | 120.9 |
| | 社費金 | 130,000,000 | 98,007,858 | 75.4 |
| | 寄付金 | 9,000,000 | 71,251,982 | 791.7 |
| | 指定寄付金 | 1,000,000 | 0 | 0 |
| | 法人社資 | 40,000,000 | 70,488,465 | 176.2 |
| | 指定寄付金 | 29,000,000 | 29,000,000 | 100.0 |
| | その他社資 | 11,000,000 | 41,488,465 | 377.2 |
| | 計 | 180,000,000 | 239,748,305 | 133.2 |
| 平成29年度 | 一般社資 | 146,000,000 | 223,285,397 | 152.9 |
| | 社費金 | 130,000,000 | 99,122,099 | 76.2 |
| | 寄付金 | 15,000,000 | 123,163,298 | 821.1 |
| | 指定寄付金 | 1,000,000 | 1,000,000 | 100.0 |
| | 法人社資 | 22,000,000 | 42,558,803 | 193.4 |
| | 指定寄付金 | 2,000,000 | 2,000,000 | 100.0 |
| | その他社資 | 20,000,000 | 40,558,803 | 202.8 |
| | 計 | 168,000,000 | 265,844,200 | 158.2 |
| 平成30年度 | 一般社資 | 139,000,000 | 213,897,523 | 153.9 |
| | 社費金 | 129,000,000 | 106,738,392 | 82.7 |
| | 寄付金 | 9,000,000 | 106,094,131 | 1,178.8 |
| | 指定寄付金 | 1,000,000 | 1,065,000 | 106.5 |
| | 法人社資 | 18,000,000 | 52,915,497 | 294.0 |
| | 指定寄付金 | 2,000,000 | 2,000,000 | 100.0 |
| | その他社資 | 16,000,000 | 50,915,497 | 318.2 |
| | 計 | 157,000,000 | 266,813,020 | 169.9 |
| 令和元年度 | 一般社資 | 139,000,000 | 131,041,415 | 94.3 |
| | 社費金 | 129,000,000 | 105,128,654 | 81.5 |
| | 寄付金 | 9,000,000 | 24,837,761 | 276.0 |
| | 指定寄付金 | 1,000,000 | 1,075,000 | 107.5 |
| | 法人社資 | 18,000,000 | 66,714,750 | 370.6 |
| | 指定寄付金 | 0 | 0 | — |
| | その他社資 | 18,000,000 | 66,714,750 | 370.6 |
| | 計 | 157,000,000 | 197,756,165 | 126.0 |
| 令和2年度 | 一般社資 | 139,000,000 | 138,379,086 | 99.6 |
| | 社費金 | 129,000,000 | 111,769,262 | 86.6 |
| | 寄付金 | 10,000,000 | 26,609,824 | 266.1 |
| | 指定寄付金 | 0 | 0 | — |
| | 法人社資 | 18,000,000 | 49,522,081 | 275.1 |
| | 指定寄付金 | 2,000,000 | 2,000,000 | 100.0 |
| | その他社資 | 16,000,000 | 47,522,081 | 297.0 |
| | 計 | 157,000,000 | 187,901,167 | 119.7 |

※ 達成率は小数第2位を四捨五入

(5) 年間を通じた広報活動の強化

① 「赤十字看板」による広報

交通量の多い幹線道路沿いへの赤十字看板の設置を継続し、「いのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命と、その活動原資が赤十字活動支援費であることを啓発した。

② 地域に根ざした広報活動の展開

赤十字運動月間を中心に、地域の人々が集まる公共施設等に地区・分区、赤十字奉仕団等の協力を得て「赤十字のぼり」を設置するとともに、四国放送及び県内ケーブルテレビ局の協力を得てスポットCMを放送するなど、地域に根ざした広報活動を展開した。

(6) 「赤十字フラッグキャンペーン」の実施

5月の赤十字運動月間を中心に、県庁前ヨットハーバー「ケンチョピア」の沿道添いに赤十字フラッグを掲げるとともに、徳島の玄関口である「徳島駅前一番町商店街」に立ち並ぶ20本のポールにバナーフラッグを設置して、赤十字思想の普及を図った。



ケンチョピアで実施した
フラッグキャンペーン

(7) 「赤十字レッドライトアッププロジェクト」 の実施

世界赤十字デーの5月8日から14日までの7日間、全国同時展開事業である「赤十字レッドライトアッププロジェクト」を実施した。

徳島市の協力を得て、徳島中央公園「鷺の門」を赤十字カラーである赤色のライトで照らし、赤十字運動月間の普及・啓発に努めた。



鷺の門で実施したレッドライト
アッププロジェクト

(8) 赤十字人道紙芝居を活用した人道精神の普及 ・啓発

第一次世界大戦期に板東俘虜収容所で展開された人道的な史実を描いた赤十字人道紙芝居「ぼんどうのコスモス」を活用した人道学習を、青少年赤十字を中心に実施し、人道精神の普及を図った。

なお、紙芝居の上演状況は次のとおりである。



ドイツ館を訪れた青少年赤十字メンバー
に紙芝居を披露する地域赤十字奉仕団

| 実施内容 | 実施回数(回) | 参加者数(名) |
|--------------------------|---------|---------|
| 小学校や地域等での「赤十字人道紙芝居」の上演活動 | 4 | 87 |
| 鳴門市内の小学校に対する人道学習支援活動 | 4 | 110 |
| 県外の青少年赤十字加盟校に対する上演活動 | 1 | 20 |
| 合 計 | 9 | 217 |

(9) 赤十字事業説明バス

例年、地域で赤十字活動に深い関わりのある赤十字奉仕団や自治会、町内会、自主防災組織のリーダー等を対象に、「赤十字事業説明バス」を実施しているが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施を見合わせた。

(10) 時代に応じた寄付制度の普及・啓発

超高齢社会を迎え、御香典の寄付や相続財産の寄付、遺贈等の相談が寄せられている中で、ライフプランに応じた赤十字支援の方法について、ホームページでの広報活動を行うとともに、遺贈等について分かりやすく説明したパンフレットを新たに作成し、関係機関へ周知するなど積極的な情報発信を行った。



新たに作成した
パンフレット

(11) 日本赤十字社功労表彰の実施

長年、赤十字活動に功労のあった方々への顕彰を行い、感謝の気持ちをお伝えするとともに、地域に根ざした赤十字活動の更なる進展を図った。

なお、例年開催している「赤十字の集い」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

(12) 「赤十字活動支援自動販売機」の設置推進

赤十字有功会や赤十字奉仕団、地区・分区、管内赤十字施設の協力を得て、赤十字活動支援自動販売機を新たに10台設置し、身近で手軽に赤十字支援ができる環境を整備した。

また、自動販売機の表面に赤十字マークや人道活動の内容をデザインすることにより、赤十字活動の啓発に努めた。

なお、設置状況は次のとおりである。



海陽町に設置した赤十字活動
支援自動販売機

(令和3年3月31日現在)

| No. | 市町村名 | 設置場所 | No. | 市町村名 | 設置場所 | |
|-----|------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|----------------|
| 1 | 徳島市 | 株式会社阿波銀行 本部 | 48 | 小松島市 | 徳島赤十字乳児院 | |
| 2 | | 株式会社阿波銀行 本部 | 49 | | 徳島赤十字病院 | |
| 3 | | 株式会社阿波銀行 本店 | 50 | | 徳島赤十字病院 | |
| 4 | | 株式会社阿波銀行 新町ビル前公園* | 51 | | 徳島赤十字病院 工事現場* | |
| 5 | | 株式会社阿波銀行 福島支店 | 52 | | 徳島赤十字病院 工事現場* | |
| 6 | | 株式会社阿波銀行 両国橋支店 | 53 | | 阿南市 | 日亜化学工業株式会社 |
| 7 | | 株式会社阿波銀行 昭和町支店 | 54 | 日亜化学工業株式会社 | | |
| 8 | | 株式会社阿波銀行 川内支店* | 55 | 阿南川島クリニック | | |
| 9 | | 株式会社阿波銀行 徳島北支店 | 56 | キョーエイ 羽ノ浦店 | | |
| 10 | | 株式会社阿波銀行 相談プラザ | 57 | 本庄公会堂 | | |
| 11 | | 株式会社阿波銀行 事務センター | 58 | 長生町自販機コーナー | | |
| 12 | | 株式会社阿波銀行 事務センター | 59 | 原嘉彦氏所有地 | | |
| 13 | | 株式会社阿波銀行 事務センター | 60 | 吉野川市 | | 日本フネン株式会社 |
| 14 | | 株式会社阿波銀行 中洲管理センター | 61 | | | 鴨島川島クリニック |
| 15 | | 株式会社阿波銀行 研修所 | 62 | | | 株式会社阿波銀行 鴨島支店* |
| 16 | | 株式会社阿波銀行 研修所 | 63 | | 株式会社阿波銀行 鴨島事務センター | |
| 17 | | 沖洲コミュニティセンター* | 64 | | 株式会社阿波銀行 鴨島事務センター | |
| 18 | | 徳島県医師会館 | 65 | | 株式会社阿波銀行 鴨島事務センター | |
| 19 | | 徳島県医師会館 | 66 | 株式会社阿波銀行 鴨島事務センター | | |
| 20 | | キョーエイ 沖浜店 | 67 | 阿波市 | 阿波中央バス | |
| 21 | | キョーエイ 山城橋店 | 68 | 美馬市 | 有限会社三宅生コン | |
| 22 | | キョーエイ 三ッ合橋店 | 69 | 石井町 | 株式会社阿波銀行 石井支店 | |
| 23 | | ショッピングプラザタクト | 70 | 松茂町 | 徳島阿波おどり空港 | |
| 24 | | 社会医療法人川島会 川島病院 | 71 | | 株式会社阿波銀行 松茂支店 | |
| 25 | | 社会医療法人川島会 川島病院 | 72 | 北島町 | 四国化工機株式会社 | |
| 26 | | 社会医療法人川島会 川島病院 | 73 | | キョーエイ 北島店 | |
| 27 | | 川島透析クリニック | 74 | | 株式会社渡辺不動産* | |
| 28 | | 川島透析クリニック | 75 | | 渡辺不動産サンチュールリッパタウン* | |
| 29 | | 川島透析クリニック | 76 | | 株式会社阿波銀行 北島支店 | |
| 30 | | 川島透析クリニック | 77 | | キョーエイ 笠木店 | |
| 31 | | 川島透析クリニック | 78 | 藍住町 | 株式会社吉岡組* | |
| 32 | | 社会福祉法人飛鳥 | 79 | | 稲次整形外科病院 | |
| 33 | | 社会福祉法人飛鳥 | 80 | | かねこみそ株式会社 | |
| 34 | | 社会福祉法人飛鳥 | 81 | | かねこみそ株式会社 | |
| 35 | | 阿波製紙株式会社 | 82 | | かねこみそ株式会社 | |
| 36 | | 一般社団法人徳島新聞社 | 83 | | 藍住川島クリニック | |
| 37 | | 徳農種苗株式会社 | 84 | 藍住川島クリニック | | |
| 38 | | 徳農種苗株式会社 | 85 | 板野町 | 上田食品店 | |
| 39 | | 高橋利弘氏所有地 | 86 | | テック情報株式会社 | |
| 40 | | 岸化学グループ | 87 | 美波町 | 美波町国民健康保険美波病院 | |
| 41 | | 喜多機械産業株式会社 | 88 | | 美波町医療保健センター | |
| 42 | | 日本赤十字社徳島県支部 | 89 | 海陽町 | 株式会社丸本 | |
| 43 | | 鳴門市 | キョーエイ 鳴門店 | | 90 | 株式会社丸本 |
| 44 | | | 鳴門クルーズサービス有限会社 | | 91 | 株式会社丸本ホットフーズ |
| 45 | | 小松島市 | 徳島赤十字ひのみね総合療育センター | 92 | つるぎ町 | カラオケコスモス |
| 46 | | | 徳島赤十字ひのみね総合療育センター | 93 | 東みよし町 | 東みよし町社会福祉協議会 |
| 47 | | | 徳島赤十字ひのみね総合療育センター | | | |

※ 網掛けは、令和2年度に設置した支援自販機
 ※ *印は、一時待避または撤去した支援自販機

2 災害救護体制の充実・強化

令和2年7月上旬、線状降水帯の発達に伴う記録的な集中豪雨により球磨川が氾濫し、甚大な被害を受けた熊本県南部に、日赤徳島DMAT（災害派遣医療チーム）及び医療救護班を派遣し、救護活動を展開した。

また、今後30年以内に70～80%の確率で発生が懸念されている南海トラフ巨大地震をはじめ、日本各地で激甚化、頻発化する豪雨災害等の自然災害に備え、災害発生直後から慢性期までの医療救護活動が迅速かつ的確に展開できるよう、救護体制の強化に努めた。

(1) 「令和2年7月豪雨災害」における救護活動

令和2年7月3日から8日にかけて、九州地方で多数の線状降水帯が発生し、熊本県南部を流れる球磨川が氾濫するなど、甚大な災害が発生した。

この災害に対し、当支部においては7月9日に日赤徳島DMATを熊本県人吉市に派遣して、保健医療調整本部での本部支援活動や被災病院の支援活動を実施するとともに、7月19日からは医療救護班を熊本県芦北町に派遣し、避難所の巡回診療や救護所を開設しての診療活動等を実施した。

① 日赤徳島DMATの派遣

| 派遣期間 | 活動場所 | 活動内容 | 派遣人数(人) | | | |
|----------------|------------|------------------------------------------------|---------|-----|--------|---|
| | | | 医師 | 看護師 | 主事・調整員 | 計 |
| 7月9日～ 7月12日 | 熊本県 人吉市 | 人吉・球磨医療圏保健医療調整本部での本部支援活動、球磨病院・人吉医療センターでの病院支援活動 | 1 | 2 | 2 | 5 |

② 医療救護班の派遣

| 派遣期間 | 活動場所 | 活動内容 | 救護人数(人) | | | | |
|-----------------|------------|---------------------------------|---------|-----|-----|--------|----|
| | | | 医師 | 看護師 | 薬剤師 | 主事・調整員 | 計 |
| 7月19日～ 7月24日 | 熊本県 芦北町 | 避難所の巡回診療、救護所での医療活動、避難所アセスメント活動等 | 3 | 5 | 1 | 3 | 12 |



巡回診療時に、避難所の衛生状況を確認する救護員（熊本県芦北町）



孤立が解消した地区で救護所を開設し、診療を行う救護員（熊本県芦北町）

(2) 救護班の編成

医師や看護師、薬剤師等で編成する常備医療救護班をはじめ、災害急性期に活動するための専門的な訓練を受けたDMAT隊員や、災害時における心理的苦痛の予防と軽減を図るためのこころのケア指導者の養成を行い、有事即応の体制を整えている。

なお、常備医療救護班等の編成状況は、次のとおりである。

① 常備医療救護班の編成

(人)

| 施設名 | 職 種 | 医 師 (班長) | 臨床研修 医師 | 看 護 師 長 | 看 護 師 | 薬 剤 師 | 主 事 (自動車操作 員を兼ねる) | 福 祉 社 専 門 職 | 計 |
|--------------------------------|-----|-------------|------------|------------|----------|----------|-------------------------|----------------|----|
| 徳島赤十字病院 (5個班) | | 5 | 9 | 5 | 20 | 5 | 5 | — | 49 |
| 徳島赤十字ひのみね 総合療育センター (1個班) | | 1 | — | 1 | 4 | 1 | 1 | — | 8 |
| 徳島県赤十字血液センター (1個班) | | 1 | — | 1 | 4 | 1 | 1 | — | 8 |
| 徳島赤十字乳児院 | | — | — | — | 1 | — | — | 1 | 2 |
| 計 (7個班) | | 7 | 9 | 7 | 29 | 7 | 7 | 1 | 67 |

(注) 1個班の編成基準

医 師 1人 看護師長 1人 看護師 4人

薬剤師 1人 主事(自動車操作員を兼ねる) 1人 計 8人

※徳島赤十字病院は、1班あたり2名の臨床研修医師を加えて編成

※徳島赤十字乳児院は、被災地のニーズにあわせ、臨機的に救護班に加わり活動する。

② 日赤徳島 DMAT (災害派遣医療チーム)

(人)

| 施設名 | 職 種 | 医 師 | 看 護 師 | 業務調整員 |
|-------------------|-----|-----|-------|-------|
| 徳島赤十字病院 (3チーム) | | 4 | 11 | 12 |

(注) 1チームの編成基準(基本)

医 師 1人 看護師 2人 業務調整員 1人 計 4人

③ こころのケア指導者

(人)

| 施設名 | 職 種 | 看 護 師 | 臨床心理士 | 計 |
|-----------------------|-----|-------|-------|---|
| 徳島赤十字病院 | | 8 | — | 8 |
| 徳島赤十字ひのみね 総合療育センター | | 3 | 1 | 4 |

(3) 日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部災害救護研修等への参加

例年実施している日本赤十字社中国・四国ブロック各県支部合同災害救護訓練や日本赤十字社の全社的な救護研修、自治体主催の防災訓練等については、新型コロナウイルス感染症の拡大及び感染防止の観点から多くが中止となった。

中国・四国ブロック各県支部の一部の研修については、WEB形式で開催し、災害医療コーディネートや災害対策本部の運営に必要な知識や技術の習得を図った。

① 日本赤十字社本社並びに中国四国ブロックが実施する研修会

| 開催年月日 | 名 称 | 参加人数 (人) | 備 考 |
|----------------|----------------------------------------|-------------|--------------------|
| — | 全国赤十字救護班研修会 | — | 新型コロナウイルス感染拡大のため中止 |
| — | 日赤災害医療コーディネート研修会 | — | 〃 |
| 令和2年 11月15日 | 令和2年7月豪雨災害救護活動に係る日本赤十字社第5ブロック各県支部合同検証会 | 2 | WEB形式 |
| — | こころのケア指導者養成研修会 | — | 新型コロナウイルス感染拡大のため中止 |
| 令和3年 2月16日 | 日本赤十字社第5ブロック救護業務担当者合同勉強会 | 3 | WEB形式 |

② 他機関が実施する災害救護訓練等

| 開催年月日 | 名 称 | 備 考 |
|---------------|------------------|---------------------|
| 令和2年 11月8日 | 近畿府県合同防災訓練 | 医療救護の実働訓練は中止のため、不参加 |
| 12月20日 | 徳島県国民保護共同図上・実働訓練 | 県内での鳥インフルエンザ発生のため中止 |

③ DMAT関係訓練・研修への参加

| 開催年月日 | 名 称 | 備 考 |
|---------------------------|-----------------------------|----------------------|
| — | 中国四国ブロックDMAT技能維持研修 (広島県) | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| 令和2年 10月17日～ 10月18日 | 四国DMAT実働訓練 (高知県) | 〃 |
| 11月28日～ 11月29日 | 中国四国ブロックDMAT技能維持研修 (香川県) | 〃 |
| 令和3年 1月28日～ 1月29日 | 中国四国ブロックDMAT技能維持研修 (山口県) | 〃 |
| 2月13日～ 2月14日 | 中国四国ブロックDMAT技能維持研修 (愛媛県) | 〃 |

(4) 救護班要員研修の実施

救護活動においては、特に活動に関わる通信や移動手段、救護所設営、生活手段等の確保を図りながら、業務調整を行う「救護主事」が重要な役割を果たすことから、救護主事として救護活動に必要な知識と技術を習得するための救護所設営訓練や各種資器材習熟訓練等を実施した。



天候万能型フレームテントを設営する救護員

① 支部が主催する救護員に対する研修の実施

| 開催年月日 | 名 称 | 参加人数 (人) | 備 考 |
|---------------|------------------------|-------------|----------------------|
| 令和2年 4月12日 | 日本赤十字社徳島県支部 救護班要員研修 | — | 新型コロナウイルス感染拡大のため中止 |
| 6月6日 | 救護班要員こころのケア研修会 | — | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| 9月17日 | 救護班要員主事研修 | 11 | |

(5) 救護物資及び救護資材

南海トラフ巨大地震等の大災害に備え、救護所及び後方支援の拠点として設置する天候万能型フレーム一体式テントをはじめ、赤十字の救護活動を自己完結するための車両として救護員輸送車等を整備している。

また、東日本大震災を教訓に、原子力災害の発生やその恐れがある場合に対応するためのデジタル個人線量計や防護服セット等、災害対応能力強化を図るための資器材も整備し、災害に備えている。

① 救護装備一覧

(令和3年3月31日現在)

| 品名 | 数量 | 品名 | 数量 |
|-----------------|------|-------------------|--------|
| 災害救援車(普通自動車) | 4台 | 防護マスク | 12個 |
| 災害救援車(トラック) | 1台 | 防護服 | 12着 |
| フレーム一体式テント | 2張 | デジタル個人線量計 | 7台 |
| エアーテント | 2張 | 防護服セット | 7セット |
| 除染テント | 1張 | 寝袋 | 49枚 |
| 簡単テント | 2張 | 敷きマット | 28枚 |
| パイプテント | 1張 | エア枕 | 500個 |
| 救護所用冷暖房器 | 3台 | 救命胴衣 | 10着 |
| 発電機 | 6台 | 災害用移動炊飯器 | 4基 |
| 投光器 | 19台 | 衛星携帯電話(モバイル) | 1台 |
| 医療セット | 2セット | 衛星携帯電話(車載) | 1台 |
| 初動用医療セット | 1セット | 簡易無線機 | 7台 |
| 折り畳み寝台 | 21台 | 業務用無線局(150MHz)基地局 | 4台 |
| 担架 | 12本 | 〃 移動局 | 10台 |
| 担架台 | 4組 | 業務用無線局(400MHz)基地局 | 1台 |
| バックボード | 4台 | 〃 移動局 | 22台 |
| ラップ式簡易トイレ | 2台 | アマチュア無線機 | 14台 |
| 簡易型トイレ | 53個 | 充電式LEDライト | 19台 |
| 災害救護用自転車 | 1台 | 折り畳みテーブル | 10台 |
| カセットガスストーブ | 5台 | ハイブリッド発電機 | 7台 |
| スポットクーラー | 2台 | 弾性ストッキング | 1,000足 |
| 折り畳みチェア | 30脚 | 段ボールベッド(要配慮者用) | 50セット |
| 災害用アルミボート(船外機付) | 1艇 | 段ボールベッド(乳児用) | 50セット |

② 南部救護倉庫収納資材一覧

(令和3年3月31日現在)

| 品名 | 数量 | 品名 | 数量 |
|------------------|------|-----------------|-------|
| 災害対策用ワンタッチ多目的テント | 1式 | ラップ式トイレ専用折り畳み個室 | 2個 |
| 全方位型LED投光器 | 2台 | 簡易型トイレ | 10個 |
| 発動発電機 | 2台 | 個室型ワンタッチテント | 10張 |
| コードリール | 2本 | 備蓄用長尺トイレレットペーパー | 10ロール |
| 担架 | 2本 | ガソリン缶詰 | 8缶 |
| 折り畳み寝台 | 10台 | 白灯油缶詰 | 8缶 |
| テーブル・椅子セット | 3セット | ガソリン携行缶 | 1個 |
| 折り畳みリヤカー | 1台 | 災害用移動炊飯器 | 2基 |
| 台車 | 1台 | カセットコンロ・カセットガス | 1セット |
| ノーパンク折り畳み自転車 | 1台 | 大型やかん | 1個 |
| 折り畳み式ホワイトボード | 2台 | 大型なべ | 1個 |
| トリアージタグ | 200枚 | 毛布 | 240枚 |
| 防水型メガホン | 2台 | 緊急セット | 30セット |
| 防水シート | 3箱 | 安眠セット | 60セット |
| シャベル | 3本 | 大判バスタオル | 120枚 |
| 救助用レンジャーロープ | 1本 | タオルケット | 120枚 |
| 遠赤石油ストーブ | 2台 | タオル・石けん | 1箱 |
| 保存用飲料水 | 108缶 | 段ボールベッド | 10個 |
| ラップ式移動型トイレ | 2台 | 間仕切り | 10個 |

③ 救援物資備蓄状況

(令和3年3月31日現在)

| 区分 | 前年度繰越数 | 県外からの受入数 | 本年度購入数 | 計① | 本年度払出数 | その他払出数 | 計② | 残数 ①-② |
|---------|--------|----------|--------|-------|--------|--------|----|-----------|
| 毛布 | 3,090 | 0 | 0 | 3,090 | 72 | 0 | 72 | 3,018 |
| 緊急セット | 1,240 | 0 | 0 | 1,240 | 36 | 1 | 37 | 1,203 |
| 安眠セット | 375 | 0 | 0 | 375 | 0 | 0 | 0 | 375 |
| 大判バスタオル | 980 | 0 | 0 | 980 | 0 | 0 | 0 | 980 |
| タオルケット | 649 | 0 | 200 | 849 | 0 | 0 | 0 | 849 |



毛布



緊急セット



大判バスタオル



安眠セット



タオルケット

(6) 災害用移動炊飯器を活用した炊き出し訓練の実施

県下215カ所の学校や公民館等に配備している災害用移動炊飯器を活用し、赤十字奉仕団等が各地域で炊き出し訓練等を実施し、災害に強い地域づくりや絆づくりを行うとともに、災害時の食に対する支援体制の充実・強化を図った。



災害用移動炊飯器を活用して炊き出しを行う地域赤十字奉仕団

① 災害用移動炊飯器設置状況

(令和3年3月31日現在)

| No. | 地区・分区名 | 設置場所 | No. | 地区・分区名 | 設置場所 | |
|-----|--------|---------------------|-----|--------|-----------------------|-----------------|
| 1 | 徳島市 | 内町コミュニティセンター | 40 | 徳島市 | 論田小学校 | |
| 2 | | 内町小学校 | 41 | | 多家良中央コミュニティセンター | |
| 3 | | 出来島公園防災倉庫 | 42 | | 丈六コミュニティセンター | |
| 4 | | 新町公民館 | 43 | | 上八万地区ボランティアセンター | |
| 5 | | 西富田コミュニティセンター | 44 | | 上八万小学校 | |
| 6 | | 東富田コミュニティセンター | 45 | | 一宮小学校 | |
| 7 | | 昭和コミュニティセンター | 46 | | 入田コミュニティセンター | |
| 8 | | 徳島市昭和地区猪之津株式会社 昭和倉庫 | 47 | | 入田中学校 | |
| 9 | | 渭東コミュニティセンター | 48 | | 不動コミュニティセンター | |
| 10 | | 渭東コミュニティセンター | 49 | | 川内町民会館 | |
| 11 | | 住吉・城東コミュニティセンター | 50 | | 川内町民会館 | |
| 12 | | 徳島商業高等学校 | 51 | | 川内南小学校 | |
| 13 | | 徳島中学校 | 52 | | 徳島県赤十字有功会 株式会社キョーエイ本部 | |
| 14 | | 渭北コミュニティセンター | 53 | | 徳島県赤十字有功会 株式会社キョーエイ本部 | |
| 15 | | 佐古コミュニティセンター | 54 | | 応神コミュニティセンター | |
| 16 | | 佐古コミュニティセンター | 55 | | 応神コミュニティセンター | |
| 17 | | 沖洲コミュニティセンター | 56 | | 国府コミュニティセンター | |
| 18 | | 沖洲小学校 | 57 | | 南井上コミュニティセンター | |
| 19 | | 津田コミュニティセンター | 58 | | 南井上コミュニティセンター | |
| 20 | | 津田中学校 | 59 | | 北井上コミュニティセンター | |
| 21 | | 津田小学校 | 60 | | 北井上コミュニティセンター | |
| 22 | | 加茂名コミュニティセンター | 61 | | 鳴門市 | 鳴門市福祉事務所 |
| 23 | | ショッピングプラザタクト | 62 | | | 鳴門市福祉事務所 |
| 24 | | 神明神社防災倉庫 | 63 | | | 鳴門市婦人会館 |
| 25 | | 若宮神社防災倉庫 | 64 | | | 木津地区ふれあい公園 |
| 26 | | 喜多機械産業株式会社 | 65 | | | 里浦公民館 |
| 27 | | 加茂コミュニティセンター | 66 | | | 里浦小学校 |
| 28 | | 千松小学校 | 67 | | | 鳴門西地区防災倉庫 |
| 29 | | 城西中学校 | 68 | | | 北灘公民館 |
| 30 | | 八万中央コミュニティセンター | 69 | | | 堀江公民館 |
| 31 | | 八万中央コミュニティセンター | 70 | | | 堀江公民館 |
| 32 | | 夷山緑地 | 71 | | | 鳴門東地区コミュニティセンター |
| 33 | | 八万小学校 | 72 | | | 黒崎集会所 |
| 34 | | 八万南小学校 | 73 | | | 矢倉集会所 |
| 35 | | 城南高等学校 | 74 | | | 渦潮ふれあい館 |
| 36 | | ふれあい健康館 | 75 | | | 瀬戸公民館 |
| 37 | | 勝占中部コミュニティセンター | 76 | | | 瀬戸公民館 |
| 38 | | 勝占東部コミュニティセンター | 77 | | | 島田小学校 |
| 39 | | 方上公民館 | 78 | | | 北泊公民館 |

| No. | 地区・分区名 | 施設名 | No. | 地区・分区名 | 施設名 | |
|-----|-----------------|--------------------|-------------------|--------|------------------|------------|
| 79 | 鳴門市 | 明神北集会所 | 119 | 阿波市 | 阿波市役所 | |
| 80 | | 日出集会所 | 120 | | 阿波市役所 阿波支所 | |
| 81 | | 徳島県赤十字有功会 鳴門シーガル病院 | 121 | | 阿波市役所 土成支所 | |
| 82 | | 徳島県赤十字有功会 鳴門シーガル病院 | 122 | | 阿波市役所 吉野支所 | |
| 83 | | 鳴門公民館 | 123 | | 大俣公民館 | |
| 84 | | 黒崎集会所 | 124 | | 大俣公民館 | |
| 85 | | 川東公民館 | 125 | | 美馬市 | 美馬市福祉事務所 |
| 86 | | 斎田集会所 | 126 | | | 三島会館 |
| 87 | | 折野北条集会所 | 127 | | | 有限会社藤田計夫商店 |
| 88 | | 板東南ふれあいセンター | 128 | | | 美馬市消防本部 |
| 89 | 小松島市 | 小松島市役所 | 129 | 三好市 | 三好市役所 | |
| 90 | | ミリカホール | 130 | | 池田中央公民館 | |
| 91 | | 徳島赤十字病院 | 131 | | 三好市社会福祉協議会 | |
| 92 | | 徳島赤十字ひのみね総合療育センター | 132 | | 三好市社会福祉協議会 三野支所 | |
| 93 | | みなと高等学園 | 133 | | 三好市社会福祉協議会 山城支所 | |
| 94 | | 立江小学校 | 134 | | 三好市社会福祉協議会 西祖谷支所 | |
| 95 | | 新開公民館 | 135 | | 三好市社会福祉協議会 東祖谷支所 | |
| 96 | | 櫛漕公民館 | 136 | | 勝浦町 | 勝浦町役場 |
| 97 | JA東とくしま旧和田島支所倉庫 | 137 | 勝浦町社会福祉協議会サルビア作業所 | | | |
| 98 | 阿南市役所 | 138 | 勝浦町福祉センター | | | |
| 99 | 橋地区防災公園 | 139 | 勝浦町福祉センター | | | |
| 100 | 阿南市 | ショッピングプラザアピカ | 140 | 上勝町 | 旭基幹集落センター | |
| 101 | | 大野公民館 | 141 | | 上勝町社会福祉協議会 | |
| 102 | | 宝田公民館 | 142 | | 上勝町支所 | |
| 103 | | 新野公民館 | 143 | | 福原ふれあいセンター | |
| 104 | | 福井公民館 | 144 | 佐那河内村 | 佐那河内村役場 | |
| 105 | | 那賀川公民館 | 145 | | 佐那河内村社会福祉協議会 | |
| 106 | | 徳島県建設業協会阿南支所 | 146 | | 佐那河内村社会福祉協議会 | |
| 107 | | 中野島総合センター | 147 | | 佐那河内小・中学校 | |
| 108 | | 長生公民館 | 148 | 石井町 | 石井中学校 | |
| 109 | | 富岡公民館 | 149 | | 高浦中学校 | |
| 110 | 阿南市勤労女性センター | 150 | 石井町社会福祉協議会 | | | |
| 111 | 桑野公民館 | 151 | 石井町地域防災交流センター | | | |
| 112 | 加茂谷公民館 | 152 | 平島水防倉庫 | | | |
| 113 | 吉野川市 | 鴨島公民館 | 153 | 神山町 | 神山町社会福祉協議会 | |
| 114 | | 上浦公民館 | 154 | | 神山町社会福祉協議会 | |
| 115 | | 西麻植会館 | 155 | | 下分公民館 | |
| 116 | | 牛島公民館 | 156 | 松茂町 | 松茂町役場 | |
| 117 | | 川島公民館 | 157 | | 松茂町役場 | |
| 118 | | 山川地域総合センター | 158 | | 松茂町津波防災センター | |

| No. | 地区・分区名 | 施設名 | No. | 地区・分区名 | 施設名 |
|-----|-------------|----------------|--------------|---------------|------------------|
| 159 | 松茂町 | 松茂町社会福祉協議会 | 188 | 那賀町 | 鷲敷中央公民館 |
| 160 | | 喜来小学校 | 189 | 美波町 | 南部総合県民局 美波庁舎 |
| 161 | | 徳島阿波おどり空港 | 190 | | 美波町ストックヤード |
| 162 | 北島町 | 北島町社会福祉協議会 | 191 | | 美波町ストックヤード |
| 163 | | 北島町社会福祉協議会 | 192 | | 美波病院 |
| 164 | | 北島町社会福祉協議会 | 193 | 木岐聖ヶ丘農林漁業体験施設 | |
| 165 | | 北島小学校 | 194 | 牟岐町 | 牟岐町役場 高倉倉庫 |
| 166 | 藍住町 | 藍住町社会福祉協議会 | 195 | | 牟岐町役場 西山倉庫 |
| 167 | | 藍住町社会福祉協議会 | 196 | | 牟岐町役場 西山倉庫 |
| 168 | | 藍住東小学校 | 197 | | 牟岐町役場 西山倉庫 |
| 169 | | 藍住西小学校 | 198 | 海陽町 | 海陽町役場 海部庁舎 |
| 170 | | 藍住南小学校 | 199 | | 海陽町役場 海部庁舎 |
| 171 | | 藍住北小学校 | 200 | | 海陽町役場 海部庁舎 |
| 172 | | 板野町 | 板野町災害対策用備蓄倉庫 | | 201 |
| 173 | 板野町社会福祉協議会 | | 202 | | 株式会社丸本（災害避難場所） |
| 174 | 板野南小学校 | | 203 | | 株式会社丸本（災害避難場所） |
| 175 | 板野西小学校 | | 204 | | つるぎ町 |
| 176 | 板野町南公会堂 | | 205 | つるぎ町役場 | |
| 177 | 板野町民ふれあいプラザ | | 206 | つるぎ町役場 | |
| 178 | 上板町 | 上板町社会福祉協議会 | 207 | つるぎ町役場 半田支所 | |
| 179 | | 高志消防コミュニティセンター | 208 | つるぎ町役場 一宇支所 | |
| 180 | | 大山消防コミュニティセンター | 209 | つるぎ町役場 一宇支所 | |
| 181 | | 松島消防コミュニティセンター | 210 | 東みよし町 | |
| 182 | 那賀町 | 那賀町役場 | 211 | | 東みよし町社会福祉協議会 |
| 183 | | 那賀町役場 木沢支所 | 212 | | 東みよし町デイサービスさざんか荘 |
| 184 | | 那賀町役場 木頭支所 | 213 | | 東みよし町デイサービスさざんか荘 |
| 185 | | 那賀町平谷出張所 | 214 | | 東みよし町デイサービスさざんか荘 |
| 186 | | 平谷小学校 | 215 | | 東みよし町デイサービスさざんか荘 |
| 187 | | 桜谷小学校 | | | |

※ 網掛けは、令和2年度に設置した災害用移動炊飯器

② 「赤十字炊き出しサポーター」の状況

令和3年3月31日現在

| 地区・分区名 | | 人数(人) | 地区・分区名 | | 人数(人) | |
|--------|--|-------|--------|------|-------|---|
| 徳島市地区 | | 54 | 東部地区 | 松茂町 | 3 | |
| 鳴門市地区 | | 3 | | 板野町 | 2 | |
| 小松島市地区 | | 1 | | 藍住町 | 3 | |
| 阿南市地区 | | 32 | | 上板町 | 2 | |
| 吉野川市地区 | | 4 | | 北島町 | 3 | |
| 阿波市地区 | | 5 | 南部地区 | 那賀町 | 3 | |
| 美馬市地区 | | 2 | | 美波町 | 3 | |
| 三好市地区 | | 15 | | 牟岐町 | 5 | |
| 東部地区 | | 勝浦町 | | 3 | 海陽町 | 2 |
| | | 上勝町 | 3 | 西部地区 | つるぎ町 | 6 |
| | | 佐那河内村 | 3 | | 東みよし町 | 2 |
| | | 石井町 | 2 | | 合 計 | |
| | | 神山町 | 3 | | | |

(7) 赤十字災害時活動用テントの配備

地域における災害時の支援活動や平時の防災訓練等において、簡単に設営が可能な折りたたみ式テントを、本年度新たに25カ所に配備し、地域の災害対応力の向上を図った。

これで県内配備している災害時活動用テントは、83張となった。



県内各地に配備している赤十字災害時活動用テント

① 赤十字災害時活動用テント配備状況

| No. | 地区 | 設置場所 | No. | 地区 | 設置場所 |
|-----|-----|---------------|-----|-----|---------------------|
| 1 | 徳島市 | 内町コミュニティセンター | 8 | 徳島市 | 佐古コミュニティセンター |
| 2 | | 新町コミュニティセンター | 9 | | 沖洲コミュニティセンター |
| 3 | | 西富田コミュニティセンター | 10 | | 津田コミュニティセンター |
| 4 | | 東富田コミュニティセンター | 11 | | 加茂名地区名東3丁目自主防災会防災倉庫 |
| 5 | | 昭和コミュニティセンター | 12 | | 加茂コミュニティセンター |
| 6 | | 渭東コミュニティセンター | 13 | | 八万中央コミュニティセンター |
| 7 | | 渭北コミュニティセンター | 14 | | 勝占中部コミュニティセンター |

| No. | 地 区 | 設 置 場 所 | No. | 地 区 | 設 置 場 所 |
|-----|----------|------------------|-------------------------------|-----------|------------------|
| 15 | 徳 島 市 | 多家良中央コミュニティセンター | 50 | 勝 浦 町 | 勝浦町民体育館 |
| 16 | | 上八万小学校 | 51 | | 勝浦町農村改善環境センター |
| 17 | | 入田コミュニティセンター | 52 | 上 勝 町 | 上勝町旭基幹集落センター |
| 18 | | 不動コミュニティセンター | 53 | | 上勝町高鉾公民館 |
| 19 | | 川内町民会館 | 54 | 佐 那 河 内 村 | 佐那河内村防災倉庫 |
| 20 | | 応神コミュニティセンター | 55 | | 佐那河内村災害備蓄倉庫 |
| 21 | | 徳島市立考古資料館敷地内防災倉庫 | 56 | 石 井 町 | 石井町社会福祉協議会 |
| 22 | | 南井上コミュニティセンター | 57 | | 石井町社会福祉協議会 |
| 23 | | 北井上コミュニティセンター | 58 | 神 山 町 | 神山町社会福祉協議会 |
| 24 | 鳴門市役所 | 59 | 神山町社会福祉協議会 | | |
| 25 | 鳴 門 市 | 鳴門公民館 | 60 | 松 茂 町 | 松茂町老人福祉センター |
| 26 | | 林崎防災倉庫 | 61 | | 松茂町老人福祉センター |
| 27 | | 矢倉消防団詰所 | 62 | 北 島 町 | 北島町社会福祉協議会 |
| 28 | | 堀江公民館 | 63 | | 北島町社会福祉協議会 |
| 29 | 小松島市 | ミリカホール | 64 | 藍 住 町 | 藍住町福祉センター |
| 30 | | JA東とくしま旧和田島支所倉庫 | 65 | | 藍住町社会福祉協議会 |
| 31 | | 和田島緑地公園倉庫 | 66 | 板 野 町 | 板野町町民センター |
| 32 | 富岡公民館 | 67 | 板野町社会福祉協議会 | | |
| 33 | 阿 南 市 | 羽ノ浦公民館 | 68 | 上 板 町 | 上板町社会福祉協議会 |
| 34 | | 大野公民館 | 69 | | 上板町社会福祉協議会 |
| 35 | | 長生公民館 | 70 | 那 賀 町 | 那賀町役場相生庁舎 |
| 36 | | 見能林公民館 | 71 | | 那賀町役場相生庁舎 |
| 37 | | 新野公民館 | 72 | 美 波 町 | 日和佐公民館 |
| 38 | 吉野川市役所 | 73 | 美波町医療保健センター | | |
| 39 | 吉野川市 | ふるさとセンター | 74 | 牟 岐 町 | 牟岐町役場西山倉庫 |
| 40 | | 川島公民館 | 75 | | 牟岐町役場西山倉庫 |
| 41 | | 山川地域総合センター倉庫 | 76 | 海 陽 町 | 海陽町役場海部庁舎 |
| 42 | 阿波市大俣公民館 | 77 | 海陽町役場海部庁舎 | | |
| 43 | 阿 波 市 | 阿波市役所 | 78 | つるぎ町 | つるぎ町役場 |
| 44 | | 吉野地域福祉センターこすもす | 79 | | つるぎ町役場 |
| 45 | 美 馬 市 | 美馬市福祉事務所 | 80 | 東みよし町 | 東みよし町社会福祉協議会 |
| 46 | | 美馬市福祉事務所 | 81 | | 東みよし町デイサービスさざんか荘 |
| 47 | | 美馬市社会福祉協議会 | 82 | そ の 他 | 日本赤十字社徳島県支部 |
| 48 | 三好市中央公民館 | 83 | 日本赤十字社徳島県支部 | | |
| 49 | 三好市 | 三好市社会福祉協議会 | ※ 網掛けは、令和2年度に設置した赤十字災害時活動用テント | | |

(8) 大規模災害時における要支援者支援体制の強化

これまでの東日本大震災や熊本地震、令和2年7月豪雨災害等における救護活動の経験を踏まえ、南海トラフ巨大地震をはじめとする大規模災害時に、長期にわたる避難所生活において特に支援が必要な要配慮者や乳児を対象とした段ボールベッドを当支部に整備し、災害時における要支援者支援体制の充実・強化を図った。



要配慮者用段ボールベッド

① 災害時要支援者用段ボールベッドの整備数

| | |
|--------------|-------|
| 要配慮者用段ボールベッド | 50セット |
| 乳児用段ボールベッド | 50セット |



乳児用段ボールベッド

(9) 地域における防災・減災事業の推進

東日本大震災をはじめとする過去の災害の教訓や当支部の救護活動の経験を通して、今後発生が懸念される南海トラフ巨大地震等の大規模災害から、いのちを守り被害を最小限に抑えるために、災害や防災についての考え方や平時の備えについて啓発を図る「防災セミナー」を学校や地域において実施した。



コロナ禍での避難所運営に関する講習

また、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染症に配慮した避難所運営に必要な知識・技術の普及を行った。

なお、実施状況は、次のとおりである。

① 講習実施状況

(人)

| 対象・主催等 | 受講者数 | 対象・主催等 | 受講者数 |
|--------------------|------|-----------------|------|
| 北井上中学校 | 19 | 環境首都とくしま創造センター | 20 |
| 阿南中学校 | 30 | 渭北自主防災会 | 22 |
| 城南高等学校 | 20 | 東部地区赤十字奉仕団 | 60 |
| 徳島県立総合大学校 | 90 | 東部地区勝浦町赤十字奉仕団 | 70 |
| 応神公民館 | 40 | 西部地区東みよし町赤十字奉仕団 | 25 |
| 吉野川市鴨島地区民生委員協議会 | 63 | 川内町婦人会・すくらむ学級 | 25 |
| 鳴門市教育委員会 | 24 | 勝浦防災士会 | 24 |
| 足代地域の防災を考える会・足代小学校 | 140 | 計 15 回 | 672 |

※ 救急法との同時開催分は、救急法短期講習実績に記載

(10) 「東日本大震災から10年 赤十字『思い』をつなぐ展」の開催

東日本大震災から10年を迎え、当時の日本赤十字社徳島県支部の救護活動を紹介するとともに、これまでの災害救護の経験と教訓から整備した救護資材等の展示を通して、震災の風化防止と未来に目を向けた「防災・減災への備え」についての普及・啓発を図った。



パネルや展示品など63点を展示

- ・実施日 令和3年3月9日（火）～11日（木）
- ・場所 徳島市シビックセンター 3階 ギャラリー
- ・展示内容 東日本大震災における日赤徳島県支部の救護活動パネル展
日本赤十字社徳島県支部の災害に対する備え
いのちをつなぐ災害への備え
日本赤十字社の活動紹介

(11) 臨時救護の状況

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、各種イベント等が中止となり、臨時救護は1回、2名の派遣に留まった。

(12) 赤十字小規模災害見舞金等交付状況

県内で発生した災害により死亡または行方不明、もしくは住家が全焼（壊）・半焼（壊）・流失・床上浸水の被害をうけた住民に対し、次の基準により見舞金品を交付した。

① 交付基準

| 区分 被害別 | 見舞金 (弔慰金) | 毛 布 | タ オ ル | 石 け ん | 緊急セット (家族構成) |
|-------------------|--------------|-----------|-----------|-----------|----------------------------------------|
| 死 亡 行 方 不 明 | 30,000 円 | | | | |
| 全 焼 全 壊 流 失 | 20,000 円 | 1 人 に 1 枚 | 1 人 に 5 本 | 1 人 に 5 個 | 1 世帯に1個 (3人まで) 1 世帯に2個 (4人以上) |
| 半焼・半壊 | 10,000 円 | 1 人 に 1 枚 | 1 人 に 5 本 | 1 人 に 5 個 | 1 世帯に1個 |
| 床 上 浸 水 | | 1 人 に 1 枚 | 1 人 に 5 本 | 1 人 に 5 個 | 1 世帯に1個 |

(注) 小規模災害に対する赤十字見舞金品交付要領に基づく。(災害救助法が適用される場合及び自己放火の火災については除く。)

② 市町村別交付状況

| 区 分 | | 死 亡 行方不明 (件) | 全焼・全壊 世帯件数 (件) | 半焼・半壊 世帯件数 (件) | 床上浸水 世帯件数 (件) | 見舞金等交付状況 | | |
|------------------|---------|--------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------|------------|--------------|
| | | | | | | 見舞金 (円) | 毛 布 (枚) | 緊急セット (個) |
| 市 地 区 | 徳島市地区 | 1 | 6 | 2 | 0 | 170,000 | 29 | 12 |
| | 鳴門市地区 | 1 | 3 | 0 | 0 | 90,000 | 5 | 3 |
| | 小松島市地区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 阿南市地区 | 0 | 2 | 0 | 0 | 40,000 | 4 | 2 |
| | 吉野川市地区 | 0 | 1 | 0 | 0 | 20,000 | 2 | 1 |
| | 阿波市地区 | 0 | 2 | 4 | 0 | 80,000 | 5 | 4 |
| | 美馬市地区 | 0 | 3 | 0 | 0 | 60,000 | 5 | 3 |
| | 三好市地区 | 1 | 4 | 0 | 0 | 110,000 | 8 | 4 |
| | 市地区計 | 3 | 21 | 6 | 0 | 570,000 | 58 | 29 |
| 東 部 地 区 | 勝浦町分区 | 0 | 1 | 0 | 0 | 20,000 | 1 | 1 |
| | 上勝町分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 佐那河内村分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 石井町分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 神山町分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 松茂町分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 北島町分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 藍住町分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 板野町分区 | 1 | 1 | 0 | 0 | 50,000 | 3 | 1 |
| | 上板町分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 1 | 2 | 0 | 0 | 70,000 | 4 | 2 |
| 南 部 地 区 | 那賀町分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 美波町分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 牟岐町分区 | 0 | 1 | 0 | 0 | 20,000 | 2 | 1 |
| | 海陽町分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 0 | 1 | 0 | 0 | 20,000 | 2 | 1 |
| 西 部 地 区 | つるぎ町分区 | 1 | 3 | 0 | 0 | 90,000 | 8 | 4 |
| | 東みよし町分区 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 1 | 3 | 0 | 0 | 90,000 | 8 | 4 |
| 町 村 分 区 計 | | 2 | 6 | 0 | 0 | 180,000 | 14 | 7 |
| 合 計 | | 5 | 27 | 6 | 0 | 750,000 | 72 | 36 |

(13) 国内の災害義援金の受付状況

(令和3年3月31日現在)

| 区 分 | 件 数 (件) | 受 付 額 (円) |
|-------------------|---------|-----------|
| 東日本大震災義援金 | 13 | 120,125 |
| 平成28年熊本地震災害義援金 | 4 | 121,956 |
| 平成30年7月豪雨災害義援金 | 3 | 10,654 |
| 令和元年台風第19号災害義援金 | 78 | 2,973,605 |
| 令和2年7月豪雨災害義援金 | 125 | 5,994,819 |
| 令和3年2月福島県沖地震災害義援金 | 10 | 230,930 |
| 計 | 233 | 9,452,089 |

3 赤十字の救急法等の普及活動

本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、多数の受講者が参集し、かつ実技等の接触機会が多い講習普及活動は、感染拡大防止の観点から、令和2年6月まで全社的に実施を見合わせた。

緊急事態宣言が解除され、外出等の自粛要請や都道府県をまたぐ移動制限等が緩和された7月からは、感染予防対策を徹底したうえで、座学を中心とした形態から講習を再開し、感染症への対応など新たな県民のニーズに柔軟に応えながら、「いのちと健康を守る」具体的な知識と技術の普及を図った。

(1) 救 急 法

国内において心臓突然死で死亡する人は年間約8万人で、感染症蔓延下においてもその状況に変わりはなく、県民の尊い命を救うために、心肺蘇生法やAEDの使用方法を中心とした一次救命処置の短期講習を7月から座学形式で再開した。

10月からは従来の蘇生人形に代わり、ペットボトルを人体の胸部に見立てて、胸骨圧迫訓練を行う新たな手法を用いた救急法講習を展開し、密集や密接、接触感染等のリスクを回避しながら、いのちと健康を守る知識と技術の普及を図った。

なお、認定証が交付される一般普及講習においては、救急法基礎講習は人工呼吸を省略するなどの暫定処置を定め10月から再開したが、



感染予防の観点から、従来の蘇生人形に代えて、ペットボトルを活用した心肺蘇生訓練

三角巾の応急手当等を普及する救急員養成講習並びに指導員養成講習は、ソーシャルディスタンスの確保が難しい実技が多く、受講者及び指導員の安全確保が困難なため、開催を見合わせた。

① 講習実施状況

ア. 基礎講習

(人)

| 対 象 ・ 主 催 等 | 受講者数 | 修了者数 |
|-------------------|------|------|
| 日本赤十字社徳島県支部 一般対象① | 12 | 12 |
| 日本赤十字社徳島県支部 一般対象② | 10 | 10 |
| 徳島文理大学 学生対象 | 33 | 33 |
| 徳島県立総合看護学校 | 40 | 40 |
| 計 4 回 | 95 | 95 |

イ. 短期講習

(人)

| 対 象 ・ 主 催 等 | 受講者数 | 対 象 ・ 主 催 等 | 受講者数 |
|-------------|------|-----------------|-------|
| 応神小学校 | 20 | 鳴門高等高校 | 60 |
| 吉井小学校 | 12 | 鳴門渦潮高等学校 | 45 |
| 山口小学校 | 16 | 小松島高等学校 | 40 |
| 長生小学校 | 21 | 小松島西高等学校 | 220 |
| 板野東小学校 | 30 | 徳島文理大学薬学部 | 74 |
| 西井川小学校 | 59 | 徳島文理大学 | 61 |
| 八万中学校 | 200 | 四国大学生生活科学部 | 10 |
| 加茂名中学校 | 50 | 徳島県立総合看護学校 | 40 |
| 小松島中学校 | 20 | 徳島県教育委員会体育学校安全課 | 10 |
| 吉野中学校 | 56 | 徳島県林業政策課 | 15 |
| 土成中学校 | 50 | 徳島県埋蔵文化財センター | 25 |
| 市場中学校 | 74 | 徳島県手話通訳問題研究会 | 50 |
| 佐那河内中学校 | 55 | 徳島県児童館連絡協議会 | 51 |
| 上勝中学校 | 25 | 徳島県危機管理環境部消防保安課 | 20 |
| 城東高等学校 | 10 | 小松島市学童保育連絡協議会 | 22 |
| 城南高等学校 | 50 | あいずみスポーツクラブ | 30 |
| 徳島市立高等学校 | 60 | 羽ノ浦第3児童クラブ | 30 |
| | | 計 34 回 | 1,611 |

② 救急法指導員数

| | | |
|-----------|-----|--------|
| 職 員 | 50名 | 計 102名 |
| ボランティア指導員 | 52名 | |

③ 赤十字AEDの設置状況

(令和3年3月31日現在)

| No. | 市町村 | 設置施設名 | No. | 市町村 | 設置施設名 | |
|-----|------|---------------|----------------|-----------------|-------------------|-----------------|
| 1 | 徳島市 | 日本赤十字社徳島県支部 | 30 | 阿南市 | 福井総合センター | |
| 2 | | 徳島市役所 | 31 | | 伊島診療所 | |
| 3 | | 阿波おどり会館 | 32 | | 阿南ひまわり会館 | |
| 4 | | 徳島合同庁舎 | 33 | | 加茂谷総合センター | |
| 5 | | 内町コミュニティセンター | 34 | | 本庄公会堂 | |
| 6 | | 西富田コミュニティセンター | 35 | | 南部総合県民阿南庁舎 | |
| 7 | | 東富田コミュニティセンター | 36 | | 南部総合県民局阿南保健所庁舎 | |
| 8 | | 昭和コミュニティセンター | 37 | | 吉野川市 | 吉野川市役所 |
| 9 | | 渭東コミュニティセンター | 38 | 吉野川市役所 | | |
| 10 | | 渭北コミュニティセンター | 39 | 阿波市役所 | | |
| 11 | | 阿波市 | 佐古コミュニティセンター | 40 | 阿波市役所阿波支所 | |
| 12 | | | 沖洲コミュニティセンター | 41 | 阿波市交流防災拠点施設「アエルワ」 | |
| 13 | | | 加茂コミュニティセンター | 42 | 吉野保健センター | |
| 14 | | | 八万中央コミュニティセンター | 43 | 阿波市土成支所 | |
| 15 | | | 八万コミュニティセンター | 44 | 土成保健センター | |
| 16 | | | 勝占中部コミュニティセンター | 45 | 美馬市 | 美馬市地域交流センターミライズ |
| 17 | | | 勝占東部コミュニティセンター | 46 | | 西部総合県民局美馬庁舎 |
| 18 | | | 方上公民館 | 47 | | 美馬市社会福祉協議会 |
| 19 | | | 三好市 | 多家良中央コミュニティセンター | 48 | 西部総合県民局三好庁舎 |
| 20 | | | | 応神コミュニティセンター | 49 | 三好市総合体育館 |
| 21 | | 南井上コミュニティセンター | | 50 | 山城公民館 | |
| 22 | 鳴門市 | 鳴門市役所 | | 51 | 三好市西祖谷支所 | |
| 23 | | 鳴門市健康福祉交流センター | | 52 | 三好市三野老人福祉センター | |
| 24 | 小松島市 | 小松島市役所 | | 53 | 井川町ふるさと交流センター | |
| 25 | 阿南市 | 阿南市役所 | | 54 | 西山構造改善センター | |
| 26 | | つばき会館 | 55 | 別格本山箸蔵寺* | | |
| 27 | | 阿南市文化会館 | 56 | 勝浦町 | 勝浦町役場 | |
| 28 | | 阿南市情報文化センター | 57 | 上勝町 | 上勝町役場 | |
| 29 | | 阿南市長生隣保館 | 58 | 佐那河内村 | 佐那河内村役場 | |

| No. | 市町村 | 設置施設名 | No. | 市町村 | 設置施設名 |
|-----|-----|-------------|-----|-------|-------------------|
| 59 | 石井町 | 石井町中央公民館 | 69 | 美波町 | 道の駅ひわさ |
| 60 | | 石井町社会福祉協議会 | 70 | 牟岐町 | 牟岐町役場 |
| 61 | 松茂町 | 松茂町役場 | 71 | 海陽町 | 海陽町デイサービスセンターさつき荘 |
| 62 | 藍住町 | 藍住町役場 | 72 | | 海陽町役場海部庁舎 |
| 63 | | 藍住町保健センター | 73 | | 海陽町役場穴喰庁舎 |
| 64 | 板野町 | 板野町民センター | 74 | つるぎ町 | つるぎ町役場一宇支所 |
| 65 | 上板町 | 上板町老人福祉センター | 75 | | つるぎ町就業改善センター |
| 66 | 那賀町 | 南部総合県民局那賀庁舎 | 76 | 東みよし町 | 東みよし町役場 |
| 67 | 美波町 | 南部総合県民局美波庁舎 | 77 | | 東みよし町老人福祉センター |
| 68 | | 美波町役場 | 78 | | 東みよし町役場三好庁舎 |

※ *印は赤十字有功会員等の協力による設置

(2) 水上安全法

水の事故から命を守るための泳ぎの基本や自己保全、事故防止、また万一、事故が発生した際の救助方法等の普及を図るのが水上安全法講習である。

本年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延下において、プールでの救助方法などの実技は密接・密集となり、受講者及び指導員の安全確保が困難なため、短期講習並びに救助員養成講習は中止となった。

① 水上安全法指導員数

| | | |
|-----------|-----|-------|
| 職 員 | 1名 | 計 25名 |
| ボランティア指導員 | 24名 | |

(3) 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を健やかに過ごすために、健康増進の知識や高齢者の支援・自立に向け役立つ介護技術の普及を図るのが健康生活支援講習である。

新型コロナウイルス感染症蔓延下において、介護技術の実技を中心とした講習は密接・密集となり、受講者や指導者の安全確保が困難であるため中止となった。

一方で、新型コロナウイルス感染症についての知識や予防対策についての講習をはじめ、正しい手洗い習慣を普及するために「ブラックライト」を用いて洗い残しをチェックできる「手洗い講習」を新たに実施した。

また、感染防止対策を徹底しながら、コロナ禍での外出自粛によるフレイル(心身が脆弱した状態) 予防を目的とした体操等も再開した。



新聞紙を使ったフレイル予防体操



ブラックライトで洗い残しをチェックする手洗い講習

① 講習実施状況

ア. 支援員養成講習

(人)

| 対 象 ・ 主 催 等 | 受講者数 | 養成者数 |
|-----------------------|------|------|
| 徳 島 赤 十 字 病 院 職 員 対 象 | 32 | 32 |

イ. 短期講習

(人)

| 対 象 ・ 主 催 等 | 受講者数 | 対 象 ・ 主 催 等 | 受講者数 |
|--------------|------|-------------|------|
| 吉野川市地区赤十字奉仕団 | 30 | 吉野川市敷地婦人会 | 40 |

ウ. 手洗い講習

(人)

| 対 象 ・ 主 催 等 | 受講者数 | 対 象 ・ 主 催 等 | 受講者数 |
|-----------------|------|-----------------|------|
| み の り 保 育 園 | 29 | 子育て支援ネットワークとくしま | 6 |
| 沖浜シーズ認定こども園 | 12 | 応 神 公 民 館 | 40 |
| 沖浜シーズ認定こども園 | 13 | 足代地域の防災を考える会 | 40 |
| 応 神 小 学 校 | 20 | 渭 北 自 主 防 災 会 | 22 |
| 北 井 上 中 学 校 | 19 | 東みよし町赤十字奉仕団 | 25 |
| 四国大学生生活科学部 | 10 | 吉野川市地区赤十字奉仕団 | 30 |
| 羽ノ浦第3児童クラブ | 30 | 吉野川市敷地婦人会 | 40 |
| 徳島県児童館連絡協議会 | 51 | 川内婦人会・すくらむ学級 | 25 |
| 徳島市私立認可保育園連盟 | 40 | | |
| 子育て支援ネットワークとくしま | 9 | 計 18 回 | 461 |

② 健康生活支援講習指導員数

| | | |
|-----------|-----|-------|
| 職 員 | 27名 | 計 35名 |
| ボランティア指導員 | 8名 | |

(4) 幼児安全法

乳幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当などの知識と技術の普及を図るのが幼児安全法講習である。

新型コロナウイルス蔓延下において、従来実施していた集合型の実技講習は受講者及び指導員の安全確保を最優先に、救急法と同様に6月まで中止し、乳幼児期にかかりやすい病気やその症状に対する手当の普及を7月から講義形式で再開した。



乳児の心肺蘇生を学ぶ受講者

また、10月からは、感染リスクを軽減できるペットボトルを用いて、乳幼児の胸骨圧迫の実技講習を保育所や幼稚園を中心に行うとともに、受講者が多数の講習においては、オンラインでの実施や2部制を導入し、コロナ禍でも県民の要望に応えるべく、創意工夫を凝らしながら幼児安全法の普及に努めた。

① 講習実施状況

ア. 短期講習

(人)

| 対象・主催等 | 受講者数 | 対象・主催等 | 受講者数 |
|-----------------|------|----------------|------|
| みどり保育園 | 18 | 徳島県教育委員会学校教育課 | 39 |
| みのり保育園 | 29 | 徳島県保育事業連合会 | 100 |
| あいずみ保育園 | 15 | 徳島市私立認可保育園連盟 | 40 |
| みつぼしこどもえん | 20 | 子ども家庭支援センターひかり | 10 |
| 沖浜シーズ認定こども園 | 12 | 子ども家庭支援センターひかり | 10 |
| 沖浜シーズ認定こども園 | 13 | 徳島赤十字乳児院 | 2 |
| 社会福祉法人仁栄会ねむのき | 17 | 徳島赤十字乳児院 | 4 |
| 子育て支援ネットワークとくしま | 9 | 徳島赤十字乳児院 | 3 |
| 子育て支援ネットワークとくしま | 6 | | |
| こまつしま健祥会認定こども園 | 20 | 計 18 回 | 367 |

② 幼児安全法指導員数

| | | |
|-----------|-----|-------|
| 職員 | 34名 | 計 60名 |
| ボランティア指導員 | 26名 | |

(5) 新型コロナウイルスへの差別・偏見解消に向けた啓発活動

新型コロナウイルス感染症の感染拡大とともに、感染者やその家族、医療従事者等に対する差別や偏見も広がったことを踏まえ、日本赤十字社が作成した人権啓発資料「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」を活用し、「病気」「不安」「差別」の3つの顔を理解し、それらの負の連鎖を断ち切るための対処法の普及を通して、更なる感染拡大防止と人権啓発に取り組んだ。



コロナウイルス3つの顔を活用した人権啓発講習

また、人権啓発資料の冊子を地区・分区や赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校等に広く配付し、学校での人権学習や地域での人権研修等で広く活用いただいた。

| 回数 | 受講者数 |
|-----|--------|
| 37回 | 1,339人 |

* 数値は赤十字職員が実施したもの

4 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、市町村ごとに組織され、地域に根ざした活動を行う「地域赤十字奉仕団」と社会人や学生により組織されている「青年赤十字奉仕団」、また特定の資格や技能、知識等を活かした活動を行う「特殊赤十字奉仕団」で組織されている。

新型コロナウイルス感染症の流行により、奉仕団活動は制限されたが、その中でも地域のニーズを踏まえた活動を展開するとともに、可能な範囲で研修等を実施し、奉仕団活動の充実・強化を図った。

| 種別 | 区分 | 団数 (団) | 団員数 (人) | | |
|----------|-------------|-----------|---------|--------|--------|
| | | | 男 | 女 | 計 |
| 地域赤十字奉仕団 | | 23 | 1,420 | 25,963 | 27,383 |
| 青年赤十字奉仕団 | 青年赤十字奉仕団 | 1 | 20 | 16 | 36 |
| | 学生赤十字奉仕団 | 2 | 6 | 19 | 25 |
| | 計 | 3 | 26 | 35 | 61 |
| 特殊赤十字奉仕団 | 赤十字救護救援奉仕団 | 1 | 33 | 22 | 55 |
| | 赤十字救急法奉仕団 | 1 | 31 | 71 | 102 |
| | 赤十字水上安全法奉仕団 | 1 | 22 | 3 | 25 |
| | 青少年赤十字賛助奉仕団 | 1 | 24 | 5 | 29 |

| 種 別 | 区 分 | 団 数 (団) | 団 員 数 (人) | | |
|----------|---------------|------------|-----------|--------|--------|
| | | | 男 | 女 | 計 |
| 特殊赤十字奉仕団 | 赤十字看護奉仕団 | 1 | 2 | 78 | 80 |
| | 赤十字アマチュア無線奉仕団 | 1 | 66 | 5 | 71 |
| | 赤十字船舶奉仕団 | 1 | 34 | 1 | 35 |
| | 赤十字バイク奉仕団 | 1 | 69 | 5 | 74 |
| 計 | | 8 | 281 | 190 | 471 |
| 合 | 計 | 34 | 1,727 | 26,188 | 27,915 |

(1) 地域赤十字奉仕団

各市町村の地域赤十字奉仕団活動の充実・強化を図るために、「モデル奉仕団の指定」等を行い、感染防止対策を徹底しながら、地域のニーズに応じた活動を実施した。

また、奉仕団組織の強化を図るために、奉仕団活動の紹介と団員募集のためのチラシ等を作成し、市町村の広報誌に掲載いただくなど、各地域で積極的な広報活動を行い、奉仕団員の増強と活動の活性化に努めた。

① 主な奉仕活動

- ア 社員増強に関する活動
- イ 災害救護に関する活動
- ウ 青少年赤十字の普及・育成に関する活動
- エ 献血推進に関する活動
- オ 赤十字の講習等の普及活動
- カ 赤十字病院や施設における奉仕活動
- キ 老人や障がい者の援助活動
- ク 地域の環境美化活動
- ケ 子育て支援活動



市町村広報誌を通じた団員募集

② 会 議

| 開催年月日 | 名 称 | 場 所 |
|-----------|----------------|----------------------|
| 令和2年12月3日 | 赤十字奉仕団中央委員会 | W E B 開催 |
| — | 赤十字奉仕団徳島県支部委員会 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| — | 市町村赤十字奉仕団委員長会議 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |

③ 研 修 会

| 開催年月日 | 名 称 | 場 所 |
|---------------------|---------------------------------------|----------------------|
| 令和2年 11月4日～11月5日 | 中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| 令和3年2月3日 | 地域赤十字奉仕団委員長研修会 (市町村赤十字奉仕団委員長会議の代替) | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |

④ モデル奉仕団の指定

奉仕団活動の充実と活性化を図るため、令和2年度は新規5団と2年目の5団をモデル奉仕団に指定したが、新型コロナウイルス感染拡大により活動が制限されたため、当該モデル奉仕団は令和3年度まで指定を継続して受けることとなった。

ア 令和元年度～令和3年度指定（2年目5団）

| 地 区 名 | 奉 仕 団 名 |
|-------|------------------|
| 徳 島 市 | 徳島市地区赤十字奉仕団渭北分団 |
| 鳴 門 市 | 鳴門市地区赤十字奉仕団大麻分団 |
| 阿 南 市 | 阿南市地区赤十字奉仕団津乃峰分団 |
| 西 部 | 西部地区つるぎ町赤十字奉仕団 |
| 東 部 | 東部地区佐那河内村赤十字奉仕団 |

イ 令和2年度～令和4年度指定（新規5団）

| 地 区 名 | 奉 仕 団 名 |
|---------|------------------|
| 徳 島 市 | 徳島市地区赤十字奉仕団沖洲分団 |
| 小 松 島 市 | 小松島市地区赤十字奉仕団櫛渕分団 |
| 阿 波 市 | 阿波市地区赤十字奉仕団 |
| 美 馬 市 | 美馬市地区赤十字奉仕団 |
| 南 部 | 南部地区那賀町赤十字奉仕団 |



手作りマスクを作製し、地域へ配布するモデル奉仕団



児童館で、献血に関する絵本を読み聞かせるモデル奉仕団

⑤ 「東日本大震災10年プロジェクト」への参加

日本赤十字社宮城県支部が主催した「東日本大震災10年プロジェクト」に参加し、宮城県で4回炊き出し支援活動を実施した地域赤十字奉仕団員が宮城県の河北新報社による取材を通して、被災者への心温まるメッセージと動画を配信するとともに、被災者に向けた寄せ書きフラッグを作成し、宮城県支部を通じて多賀城災害公営住宅に送ることで、被災者との心の交流を図った。



被災地に向け、心温まるメッセージを発信する地域奉仕団員

(2) 青年赤十字奉仕団

若い力を集結して各種奉仕活動を展開するために、当支部や中国四国ブロック主催の協議会・研修会を可能な形で開催するとともに、感染防止対策を徹底しながら、献血キャンペーンや学内献血等を実施した。

① 会議及び研修会等

| 開催年月日 | 行事名 | 備考 |
|-----------|---------------------|----------------------|
| — | 中国四国学生献血推進協議会代表委員会 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| 令和2年8月18日 | 徳島県青年赤十字奉仕団総会 | 書面開催 |
| 8月28日 | 第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会 | 〃 |
| — | 全国学生献血推進代表者会議 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| — | 中国四国学生献血推進協議会研修会 | 〃 |
| — | 海外たすけあい街頭募金活動 | 〃 |
| 令和3年3月13日 | 中国四国学生献血推進協議会代表委員会 | WEB開催 |
| 3月30日 | 第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会 | 〃 |

② 主要奉仕活動

| 開催年月日 | 行事名 | 備考 |
|-----------|---------------------------|----------------------|
| — | 春の献血キャンペーン | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 |
| — | マチ★アソビ献血（5月） | 〃 |
| 令和2年7月19日 | 愛の血液助け合い月間キャンペーン（ゆめタウン徳島） | 〃 |

| 開催年月日 | 行 事 名 | 備 考 |
|--------------------|-----------------------------------------|--------------------------|
| 8月18日～ 8月20日 | 青少年赤十字徳島県リーダーシップ・ トレーニング・センター(小学校の部) | 新型コロナウイルス感 染拡大防止のため中止 |
| — | 中国四国学生献血統一キャンペーン | 〃 |
| — | マチ★アソビ献血 (10月) | 〃 |
| — | KEEP on LOOP 活動「県結隊」 | 〃 |
| 12月16日・18日 ・20日 | 全国学生クリスマス献血キャンペーン2020 (文理大学、ゆめタウン徳島) | |
| 令和3年2月27日 | 「はたちの献血」withバレンタイン キャンペーン (ゆめタウン徳島) | |
| 通 年 | 学 内 献 血 (四国大学、徳島大学常三島キャンパス) | |

(3) 特殊赤十字奉仕団

新型コロナウイルス感染症の流行により、活動は制限されたが、救護救援奉仕団を対象に感染症蔓延下の避難所運営に必要な知識の習得と、要配慮者支援に必要な当支部オリジナル段ボールベッドの設営訓練等を通して、コロナ禍における救護技術の向上を図った。



乳児用や要配慮者用の段ボールベッドの組立を行う救護救援奉仕団員

| 開催年月日 | 行 事 名 | 場 所 | 備 考 |
|---------------|-------------------------------|-------|---------|
| 令和2年 7月16日 | 青少年赤十字賛助奉仕団役員会 | 支部事務局 | |
| 7月26日 | 赤十字バイク奉仕団走行訓練 | 小松海岸 | 雨天のため中止 |
| 7月30日 | 赤十字救護救援奉仕団総会 及び研修会 | 支部事務局 | |
| 令和3年 3月11日 | 東日本大震災メモリアル アマチュア無線奉仕団通信訓練 | 徳島市 | |

5 青少年赤十字

青少年赤十字(JRC)は、児童・生徒が赤十字精神に基づき、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会、国家・世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的としている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年どおりの活動が難しい中、感染症が引き起こす不安や差別に対処するために、人権啓発教材「新型コロナウイルスの

3つの顔を知ろう」を青少年赤十字加盟校に配布し、人権学習への活用を通して差別や偏見を防ぐための啓発を行った。

また、Zoomを用いたオンラインでの国際交流事業や高校生メンバーを対象とした学習会等を行い、青少年赤十字活動の活性化を図った。



Zoomを活用した国際交流事業

(1) 青少年赤十字の加盟促進等

「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の

3つの実践目標掲げる青少年赤十字を普及するため、県下の幼稚園を対象に加盟促進を図った。

① 徳島県の加盟校数、加盟メンバー数

| 校種別 | 加盟校数 (校) | | 加盟メンバー数 (名) | | | | | |
|--------|----------|-------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 令和2年度 | 令和元年度 | 男 | | 女 | | 計 | |
| | | | 令和2年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和元年度 |
| 幼稚園 | 13 | 6 | 458 | 192 | 484 | 173 | 942 | 365 |
| 小学校 | 163 | 163 | 16,607 | 16,667 | 15,607 | 16,455 | 32,214 | 33,122 |
| 中学校 | 84 | 84 | 8,775 | 8,653 | 8,332 | 8,540 | 17,107 | 17,193 |
| 高等学校 | 34 | 34 | 2,336 | 410 | 2,428 | 611 | 4,764 | 1,021 |
| 特別支援学校 | 12 | 11 | 618 | 169 | 328 | 69 | 946 | 238 |
| 計 | 306 | 298 | 28,794 | 26,091 | 27,179 | 25,848 | 55,973 | 51,939 |

② 令和元年度青少年赤十字加盟校一覧表



令和2年度新規加盟校

令和3年3月31日現在

| 郡市 | 区分 | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 |
|------|--------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 徳島市 | 鳴教大附属・八万・上八万・助任・千松・沖浜シーズ・国府・沖州・入田・福島 | 鳴教大附属・八万・上八万・助任・千松・沖浜シーズ・国府・沖州・入田・福島 | 内町・新町・佐古・富田・福島・城東・助任・津田・昭和・沖州・加茂名・加茂名南・八万・八万南・千松・大松・論田・方上・宮井・渋野・不動・上八万・一宮・入田・川内北・川内南・応神・国府・南井上・北井上・鳴教大附属 | 徳島・城西・富田・城東・津田・加茂名・八万・南部・不動・上八万・入田・川内・応神・国府・北井上・鳴教大附属・徳島文理・城ノ内 |
| | 鳴門市 | | 撫養・林崎・桑島・鳴門市第一・里浦・鳴門東・鳴門西・明神・大津西・堀江北・堀江南・板東・黒崎 | 鳴門市第一・鳴門市第二・鳴門・瀬戸・大麻・大麻広塚分校 |
| 小松島市 | | | 小松島・南小松島・北小松島・千代・児安・芝田・立江・櫛淵・坂野・和田島・新開 | 小松島・小松島南 |
| 阿南市 | | | 中野島・横見・富岡・宝田・大野・長生・見能林・津乃峰・桑野・山口・吉井・橘・福井・椿・伊島・新野・新野東・今津・平島・羽ノ浦・岩脇・椿泊 | 阿南・阿南第一・阿南第二・加茂谷・福井・椿町・伊島・那賀川・羽ノ浦・富岡東・新野 |

| 区市 | 区分 | 幼稚園 | 小 学 校 | 中 学 校 |
|------|----------|-----|---------------------------------------------------------------------|-------------------------|
| 吉野川市 | | | 上浦・牛島・森山・飯尾敷地・知恵島・川島・学島・山瀬・鴨島・高越 | 鴨島東・鴨島第一・川島・県立川島・山川 |
| 阿波市 | | | 御所・土成・久勝・伊沢・林・一条・市場・八幡・大俣 | 吉野・土成・市場・阿波 |
| 美馬市 | | | 江原南・江原北・脇町・岩倉・美馬・三島・穴吹・木屋平 | 江原・脇町・美馬・三島・穴吹・木屋平・岩倉 |
| 三好市 | | | 王地・芝生・箸蔵・池田・白地・馬路・三縄・山城・下名・辻・西井川・櫟生・吾橋・東祖谷 | 三野・池田・山城・井川・東祖谷・西祖谷 |
| 勝浦郡 | | | 生比奈・横瀬・上勝 | 勝浦・上勝 |
| 名東郡 | | | 佐那河内 | 佐那河内 |
| 名西郡 | | | 石井・浦庄・藍畑・広野・神領 | 石井・高浦・神山 |
| 那賀郡 | | | 鷺敷・相生・木頭・平谷 | 鷺敷・相生・木頭 |
| 海部郡 | | | 牟岐・日和佐・伊座利・海部・由岐・海南・穴喰 | 牟岐・日和佐・由岐・海陽・穴喰・由岐伊座利分校 |
| 板野郡 | 北島・神宅・高志 | | 長原・松茂・喜来・北島北・北島・北島南・藍住北・藍住南・藍住西・藍住東・板野東・板野東大坂分校・板野西・板野南・神宅・東光・松島・高志 | 松茂・北島・藍住東・藍住・板野・上板 |
| 美馬郡 | | | 半田・太田・貞光 | 半田・貞光 |
| 三好郡 | | | 足代・昼間・加茂・三庄 | 三加茂・三好 |

幼稚園計 13校(新規7校)

小学校計 163校

中学校計 84校

| | | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 高等学校 | 城東・城南・城北・城ノ内・徳島北・徳島市立・城西・科学技術・徳島商業・徳島文理・徳島中央・小松島・小松島西・小松島西勝浦校・富岡東・富岡東羽ノ浦校・富岡西・阿南光・那賀・海部・鳴門・鳴門渦潮・板野・名西・川島・阿波・阿波西・穴吹・脇町・つるぎ・池田・池田三好校・池田辻校・吉野川 | 34校 |
| 特別支援学校 | 聴覚支援・視覚支援・国府支援・池田支援・池田支援美馬分校・鴨島支援・ひのみね・阿南支援・鳴教大附属特別支援学校・板野支援・みなと・阿南支援 ひわさ分校 | 12校 (新規1校) |

合計 306校

(2) 会議及び研修会

① 本社主催

| 開催年月日 | 行 事 名 | 備 考 |
|-----------|----------------------|----------|
| 令和2年9月11日 | 青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会 | W E B 開催 |
| 令和3年1月8日 | 指導主事対象青少年赤十字研究会 | 〃 |

② 中・四国ブロック主催

| 開催年月日 | 行事名 | 備考 |
|------------|---------------------------------|-------|
| 令和2年10月13日 | 中・四国ブロック青少年赤十字指導者協議会長並びに事務担当者会議 | WEB開催 |

③ 支部及び指導者協議会主催

| 開催年月日 | 行事名 | 備考 |
|-----------|----------------------------|------|
| 令和2年5月14日 | 青少年赤十字指導者協議会総会 | 書面開催 |
| 11月30日 | 青少年赤十字指導者研修会 (支部事務局) | |
| 12月4日 | 青少年赤十字指導者協議会役員会 (支部事務局) | |
| 令和3年3月29日 | 青少年赤十字指導者協議会役員会 (支部事務局) | |

④ 高等学校JRC協議会主催行事

| 開催年月日 | 行事名 | 備考 |
|-----------|------------------------|-----------------------|
| 令和2年6月 | 青少年赤十字高等学校協議会総会 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 |
| 令和3年1月30日 | 青少年赤十字高等学校協議会 冬季学習会 | WEB開催 |

⑤ 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

新型コロナウイルス感染症拡大のため、全校種のトレーニング・センターは中止となった。

(3) 青少年赤十字国際支援学習の実施

青少年赤十字加盟校を対象に「青少年赤十字国際支援学習」を実施し、数々の海外での救護活動経験のある赤十字国際救護員（徳島赤十字病院看護師）が紛争や貧困で苦しむ海外の子供たちの現状と赤十字の国際活動について、実体験を交えて紹介することにより、人道精神の普及と国際社会への理解促進を図った。



赤十字国際救護員から支援を必要とする世界の子供たちの現状を学ぶメンバー

(4) 「青少年赤十字防災教育プログラム」を活用した防災教育の推進

授業ですぐ使える防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」を活用した防災教育プログラムを加盟校で推進し、児童・生徒の防災意識の高揚を図るととも

に、「自分の命は自分で守ること」に注力した取り組みを推進した。

(5) 書き損じはがき収集活動実施状況

| | | |
|---------|------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 第26回受付分 | 受付枚数 | 911枚 |
| | 換金額 | 48,052円 |
| | 協力校数 | 国府幼稚園、新町小学校、岩脇小学校、吾橋小学校、日和佐小学校、石井中学校、富岡東高等学校、鴨島支援学校、伊座利小学校、鳴門教育大学附属特別支援学校、川島小学校 |

※ 参考 第1回から第26回までの累計

受付枚数 48,274枚 換金額 2,183,512円

(6) 青少年赤十字活動資金（1円玉募金）

| | |
|------|-----------------------------------------------------------------------|
| 受付件数 | 11件 |
| 募金額 | 46,021円 |
| 協力校 | 八万小学校、応神小学校、北島小学校、千松小学校、徳島中学校、城西中学校、鳴門教育大学附属中学校、城ノ内高等学校、徳島科学技術高校、穴吹高校 |

※ エコキャップ等換金分を含む

(7) 中古本等買い取りプログラム「キモチと」

| | |
|-------|-----------------------------------------|
| 換金物品数 | 101点 |
| 換金額 | 6,027円 |
| 協力校数 | 立江小学校、上勝小学校、徳島北高等学校、阿波高等学校、鳴門教育大学附属支援学校 |

※ 令和元年度より開始

(8) 青少年赤十字優良児童・生徒表彰状況

| 校種別 | 学校数 (校) | メンバー数 (名) |
|------|---------|-----------|
| 小学校 | 7 | 13 |
| 中学校 | 3 | 5 |
| 高等学校 | 17 | 25 |
| 計 | 27 | 43 |

6 国際活動

自然災害や紛争等による被災者・犠牲者を支援するために、日本赤十字社本社や中国・四国各県支部と連携した国際活動を展開した。

(1) アジア・大洋州地域に対する給水・衛生活動の支援

アジア・大洋州地域においては、洪水やサイクロン災害による被害が増大し、災害時の給水・衛生活動のニーズが高まっていたことから、中国・四国各県支部と共同で浄水器やタンク、水質検査キット、簡易トイレ用資材、衛生教育用文房具等をセットにした「給水・衛生キット」を配備するための援助を行った。

(2) NHK海外たすけあい義援金募集

世界各地で多発する自然災害や地域紛争等による犠牲者の緊急救援、及び開発途上国赤十字社の行う保健衛生、災害対策事業等の開発協力を行うために寄附金募集を実施した。

令和2年度「NHK海外たすけあい」の実績表

| 区 分 | 件 数 (件) | 金 額 (円) | (前年度) (円) | 伸び率 (%) | 区 分 | 件 数 (件) | 金 額 (円) | (前年度) (円) | 伸び率 (%) |
|---------|------------|-------------|--------------|------------|--------------|------------|------------------|------------------|------------|
| 本 社 | 15,521 | 222,709,337 | 113,660,179 | 196 | 滋 賀 県 | 1,528 | 6,850,003 | 6,173,083 | 111 |
| 北 海 道 | 2,885 | 14,337,846 | 13,818,519 | 104 | 京 都 府 | 1,463 | 11,919,966 | 11,379,734 | 105 |
| 青 森 県 | 339 | 2,532,747 | 3,948,864 | 64 | 大 阪 府 | 3,120 | 31,331,766 | 35,180,391 | 89 |
| 岩 手 県 | 1,089 | 6,121,578 | 4,951,403 | 124 | 兵 庫 県 | 2,750 | 25,122,293 | 19,449,813 | 129 |
| 宮 城 県 | 1,918 | 8,046,784 | 8,470,462 | 95 | 奈 良 県 | 480 | 6,192,884 | 5,588,693 | 111 |
| 秋 田 県 | 428 | 2,843,329 | 3,623,860 | 78 | 和 歌 山 県 | 1,505 | 6,857,528 | 6,486,088 | 106 |
| 山 形 県 | 362 | 2,768,207 | 3,573,056 | 77 | 鳥 取 県 | 215 | 2,413,696 | 2,317,940 | 104 |
| 福 島 県 | 780 | 8,806,576 | 9,999,665 | 88 | 島 根 県 | 1,624 | 3,422,217 | 3,269,477 | 105 |
| 茨 城 県 | 1,091 | 8,003,142 | 8,525,804 | 94 | 岡 山 県 | 672 | 7,029,968 | 6,604,880 | 106 |
| 栃 木 県 | 2,780 | 5,361,625 | 4,957,871 | 108 | 広 島 県 | 2,465 | 17,119,179 | 18,222,122 | 94 |
| 群 馬 県 | 794 | 7,170,004 | 6,512,095 | 110 | 山 口 県 | 1,494 | 7,889,031 | 6,312,885 | 125 |
| 埼 玉 県 | 2,334 | 20,177,077 | 23,649,206 | 85 | 徳 島 県 | 373 | 4,726,179 | 5,098,368 | 93 |
| 千 葉 県 | 2,563 | 19,229,980 | 21,345,560 | 90 | 香 川 県 | 334 | 3,354,109 | 3,849,721 | 87 |
| 東 京 都 | 4,501 | 64,604,374 | 65,942,283 | 98 | 愛 媛 県 | 1,409 | 5,322,735 | 4,592,865 | 116 |
| 神 奈 川 県 | 3,584 | 33,100,771 | 42,795,565 | 77 | 高 知 県 | 876 | 2,303,347 | 3,029,450 | 76 |
| 新 潟 県 | 1,690 | 8,323,502 | 8,878,861 | 94 | 福 岡 県 | 3,006 | 15,771,196 | 15,482,709 | 102 |
| 富 山 県 | 1,064 | 11,954,344 | 12,972,586 | 92 | 佐 賀 県 | 421 | 3,787,461 | 3,811,756 | 99 |
| 石 川 県 | 785 | 7,740,972 | 7,109,888 | 109 | 長 崎 県 | 867 | 5,434,017 | 4,050,073 | 134 |
| 福 井 県 | 934 | 6,579,114 | 6,208,023 | 106 | 熊 本 県 | 2,326 | 7,618,873 | 8,567,205 | 89 |
| 山 梨 県 | 331 | 5,744,567 | 5,115,624 | 112 | 大 分 県 | 1,175 | 5,772,107 | 5,479,472 | 105 |
| 長 野 県 | 2,427 | 16,590,027 | 10,365,142 | 160 | 宮 崎 県 | 374 | 3,540,171 | 3,588,942 | 99 |
| 岐 阜 県 | 745 | 9,180,421 | 9,969,369 | 92 | 鹿 児 島 県 | 375 | 5,578,324 | 5,262,170 | 106 |
| 静 岡 県 | 1,365 | 18,145,531 | 16,632,078 | 109 | 沖 縄 県 | 432 | 4,028,944 | 4,582,047 | 88 |
| 愛 知 県 | 5,482 | 37,003,015 | 41,520,906 | 89 | 合 計 | 86,964 | 750,388,183 | 656,561,824 | 114 |
| 三 重 県 | 1,888 | 9,926,719 | 13,685,071 | 73 | | | | | |

(参 考)

最近における「NHK海外たすけあい」の最終実績

| | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 平成23年度 (第29回) 533,842,280 円 | 平成28年度 (第34回) 635,829,119 円 |
| 平成24年度 (第30回) 700,242,272 円 | 平成29年度 (第35回) 704,476,254 円 |
| 平成25年度 (第31回) 572,957,357 円 | 平成30年度 (第36回) 756,095,488 円 |
| 平成26年度 (第32回) 605,075,037 円 | 令和元年度 (第37回) 656,561,824 円 |
| 平成27年度 (第33回) 715,267,248 円 | |

IV 一般会計決算状況

1 総括

| 区分 | 当初予算額 | 補正予算額 | 計 | 決算額 | 予算に比し増減 |
|-----------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| 歳入 | 203,028,000 ^円 | 32,006,000 ^円 | 235,034,000 ^円 | 236,861,122 ^円 | 1,827,122 ^円 |
| 歳出 | 203,028,000 | 32,006,000 | 235,034,000 | 190,267,716 | △44,766,284 |
| 歳入歳出差引繰越額 | | | 46,593,406 円 | | |

(1) 歳入

| 科目 | 令和2年度 決算額 | 令和元年度 決算額 | 増減 | 対前年度 比 |
|----------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|-----------|
| 1 支部収入 | 236,861,122 ^円 | 258,329,602 ^円 | △21,468,480 ^円 | 91.7% |
| (1) 社資収入 | 187,901,167 | 197,756,165 | △9,854,998 | 95.0 |
| (2) 委託金等収入 | 121,402 | 593,790 | △472,388 | 20.4 |
| (3) 補助金及び交付金収入 | 2,439,542 | 4,555,220 | △2,115,678 | 53.6 |
| (4) 繰入金収入 | 142,500 | 262,500 | △120,000 | 54.3 |
| (5) 雑収入 | 467,176 | 1,601,440 | △1,134,264 | 29.2 |
| (6) 前年度繰越金 | 45,789,335 | 53,560,487 | △7,771,152 | 85.5 |

(小数第2位四捨五入)

(2) 歳出

| 科目 | 令和2年度 決算額 | 令和元年度 決算額 | 増減 | 対前年度 比 |
|-------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|-----------|
| 1 支部費 | 190,267,716 ^円 | 212,540,267 ^円 | △22,272,551 ^円 | 89.5% |
| (1) 災害救護事業費 | 12,035,251 | 12,615,404 | △580,153 | 95.4 |
| (2) 社会活動費 | 24,384,340 | 29,001,114 | △4,616,774 | 84.1 |
| (3) 国際活動費 | 789,004 | 878,901 | △89,897 | 89.8 |
| (4) 指定事業地方振興費 | 0 | 1,075,000 | △1,075,000 | — |
| (5) 地区分区交付金支出 | 11,089,196 | 11,456,167 | △366,971 | 96.8 |
| (6) 社業振興費 | 24,430,843 | 27,374,150 | △2,943,307 | 89.2 |
| (7) 基盤整備交付金・補助金支出 | 17,420,000 | 25,020,000 | △7,600,000 | 69.6 |
| (8) 積立金支出 | 39,601,800 | 37,895,422 | 1,706,378 | 104.5 |
| (9) 総務管理費 | 27,673,459 | 32,156,756 | △4,483,297 | 86.1 |
| (10) 資産取得及び資産管理費 | 4,958,648 | 5,565,179 | △606,531 | 89.1 |
| (11) 本社送納金支出 | 27,885,175 | 29,502,174 | △1,616,999 | 94.5 |

(小数第2位四捨五入)

